2014年度大阪府安威川ダム
国予算要望提出資料

大阪府河川室

様式7の2

淀川水系安威川　安威川ダム建設工事計画説明表（補助事業）

水系名	淀川	事業主体	大阪府	計画の大要	位置	左岸 大阪府茨木市生保及び安威 右岸 大門寺　地先	ダムサイトの地質
河川名	安威川				建設の目的	（1）洪水調節 ： ダム地点計画高水流量850㎥/sのうち、690㎥/sの洪水調節を行う。 （2）流水の正常な機能の維持 ： 既得用水の補給を行うなど、流水の正常な機能の維持の増進をはかる	花崗閃緑岩 ホルンフェルス （砂岩）
ダム名	安威川						安威川ダム

貯水池	流域面積 (km²)	湛水面積 (km²)	水位（ELm） サーチャージ	常時	夏期	最低水位	利用水深（m） サーチャージ	常時	貯水池容量 (1,000m³) 総量	有効量	サーチャージ	治水	不特定	堆砂量
	52.2	0.81	125.0	99.4	-	90.2	34.8	9.2	18,000	16,400		14,000	2,400	1,600

治水計画																						
ダム地点	計画高水流量	m³/S 850	調節量	m³/S 690	放流量	m³/S 160	調節方式	自然調節	ダム	型式	高さ（m）	長さ（m）	体積（m³）	越流頂（EL m）	設計洪水位（EL m）	堤長（EL m）	ダム設計洪水流量（m³/s）	越流設備	放流設備
基準地点	相川	安全度 1/100	基本高水流量	m³/S 1,850	計画高水流量	m³/S 1,250	妥当投資額	千円 961,736,000		ロックフィル	76.5	337.5	2,191,000	125.0	128.9	131.5	1,300	自由越流型式 71.3	オリフィス 3.6*3.6 1門

不特定	補給面積	既得水量	維持水量	補償	水没戸数	水没農地	水没市町村名	湛水予定	一部	年月	全部	
	ha 84.3	m³/S 0.458	m³/S 0.305		戸 49	ha 28.18	茨木市・高槻市					H34 年 3 月

総事業費	H25 年度までの出来高	工程	予備調査	実施計画調査	建設事業 着工	竣工	下流河川改修計画	氾らん防止市町村名	
千円 131,400,000 ※うち17,739,000 利水撤退負担金	67.2 %		S42 ～	着手 S 51 年度	S 63 年度	H 33 年度	基幹河川改修	氾らん防止面積	茨木市・高槻市・摂津市 吹田市・大阪市 ha 2,602

事業費年度別（千円）	年度別	H20年度まで	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H25年度まで	H26年度以降	H26年度	備考
	国土交通省公共費	【3,670,907】 <7,664,852> （6,974,469）	【570,909】 <2,209,091>	<1,772,727>	<420,000>			【4,241,816】 <12,066,670> （6,974,469）			【　】内は住宅関連枠 < >内は下水関連枠 （　）内は道路関連枠
H17の利水者縮小による過年度不用支出額 2,567,718千円 は含まない				<<50,000>>	<<20,000>>	<<30,000>>	<<30,000>>	1,416,086 <<130,000>>	215,914 <<215,914>>	<<30,000>>	うち事務費（H22以降の事務費を含む） << >>内はH22以降の事務費
		55,595,830	6,699,779	5,797,262	1,618,145	1,995,834	2,948,181	74,655,031	39,005,969	5,030,000	H22以降の事務費を含む、利水撤退負担金を含まない

様式7の3

平成26年度　　安威川ダム建設工事年度別内訳及び実施内容

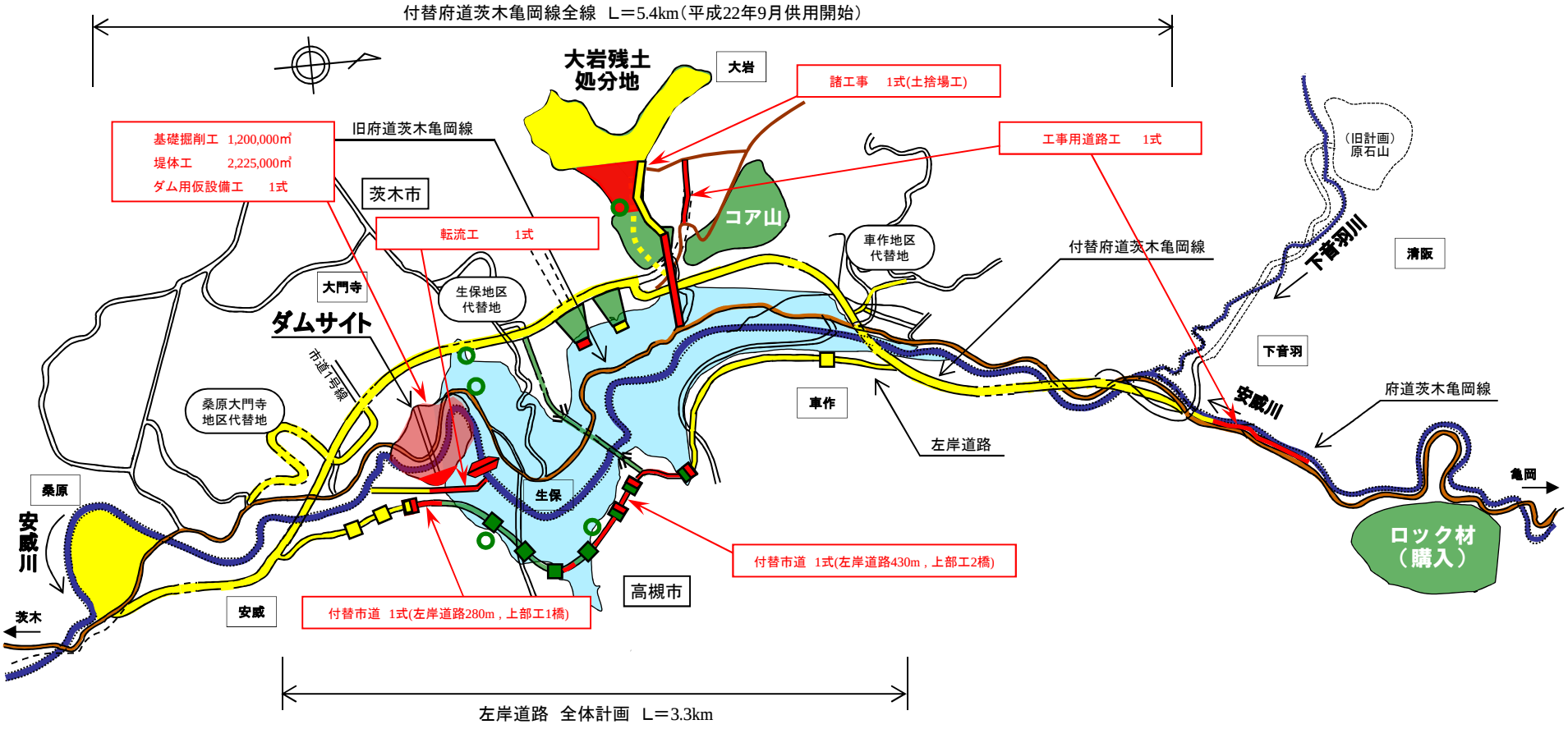
（単位：千円）

項　　目	総事業費金額	平成25年度金額	平成25年度迄金額	平成26年度以降金額	平成26年度金額	平成26年度実施内容
事業費	131,400,000	2,948,181	74,655,031	56,744,969	5,030,000	
工事費	129,768,000	2,918,181	73,238,945	56,529,055	5,000,000	利水撤退負担金関連費は含まない
本工事費	39,450,000	1,638,181	10,998,802	28,451,198	3,680,000	
ダム費	36,369,000	1,518,181	10,878,802	25,490,198	3,370,000	○ 転流工　ΣC= 711,000 ・ 転流工　1 式　C= 491,000 ・ 仮締切工　1 式　C= 220,000 ○ 諸工事　ΣC= 875,000 ・ 土捨場工　1 式　C= 875,000 ○ 基礎掘削工　ΣC= 860,000 ・ 基礎掘削工　1,199,934 ㎥　C= 860,000 ○ 堤体工　ΣC= 920,000 ・ 堤体盛立工　2,225,020 ㎥　C= 920,000 ○ ダム用仮設備工　ΣC= 4,000 ・ 濁水処理設備設置　1 式　C= 4,000
管理設備費	1,417,000	0	0	1,417,000	0	
仮設備費	1,335,000	120,000	120,000	1,215,000	310,000	[redacted]
工事用動力費	329,000	0	0	329,000	0	
測量設計費	9,301,000	244,000	8,890,938	410,062	364,000	[redacted]
用地費及補償費	80,997,000	1,036,000	71,071,776	9,925,224	956,000	
補償費	54,537,000	245,000	51,679,441	2,857,559	166,000	[redacted]
補償工事費	26,460,000	791,000	19,392,335	7,067,665	790,000	
船舶及機械器具費	20,000	0	16,429	3,571	0	
（事務費+旧営繕費）	1,632,000	<<30,000>>	1,416,086	215,914	<<30,000>>	
利水撤退負担金関連費	0	0	(20,306,718)	0	0	H17の利水縮小に伴う過年度不用支出額2,567,718（千円）+利水撤退負担金17,739,000（千円）＝20,306,718（千円）

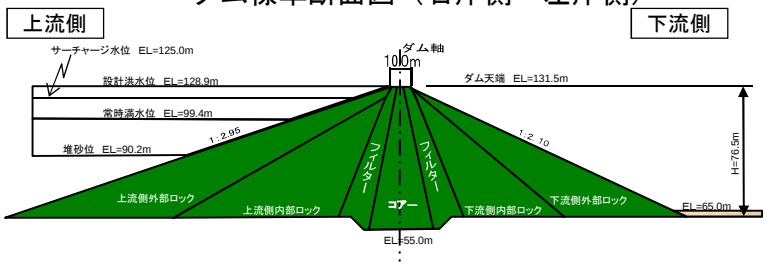
【様式7の4】

安威川ダム事業計画概要図

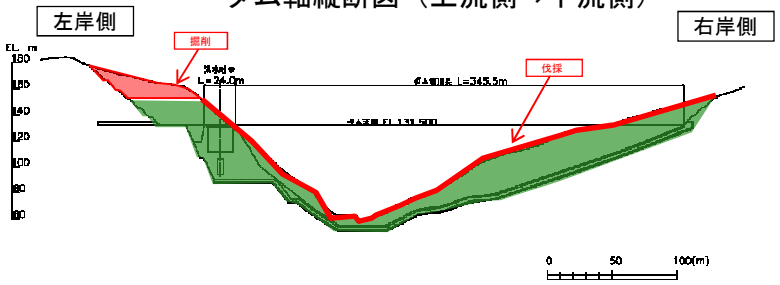
【大阪府】



ダム標準断面図（右岸側⇒左岸側）



ダム軸縦断図（上流側⇒下流側）



凡　例

- H25年度まで
- H26年度実施
- H27年度以降

27

大阪府ダム事業計画概要図

平成26年1月

様式７の５

用地先行取得国庫債務負担行為内訳表

（単位：千円）

工　種	種　別	細　別	債務負担全体計画		再取得額						摘　要
					平成○○年度まで		平成○○年度以降		平成○○年度		
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
											先行取得年度 ○○年度
補償費小計											
用地測量費											
直接管理費											
小計											
利子支払額											
合計											

安威川ダム　該当なし

（注）１．工種、種別、細別は実施計画のそれぞれの費目による。
　　２．摘要欄に先行取得年度及び利子支払額の積算根拠を記載すること。

様式７の６

国　庫　債　務　負　担　行　為　内　訳　表

（単位：千円）

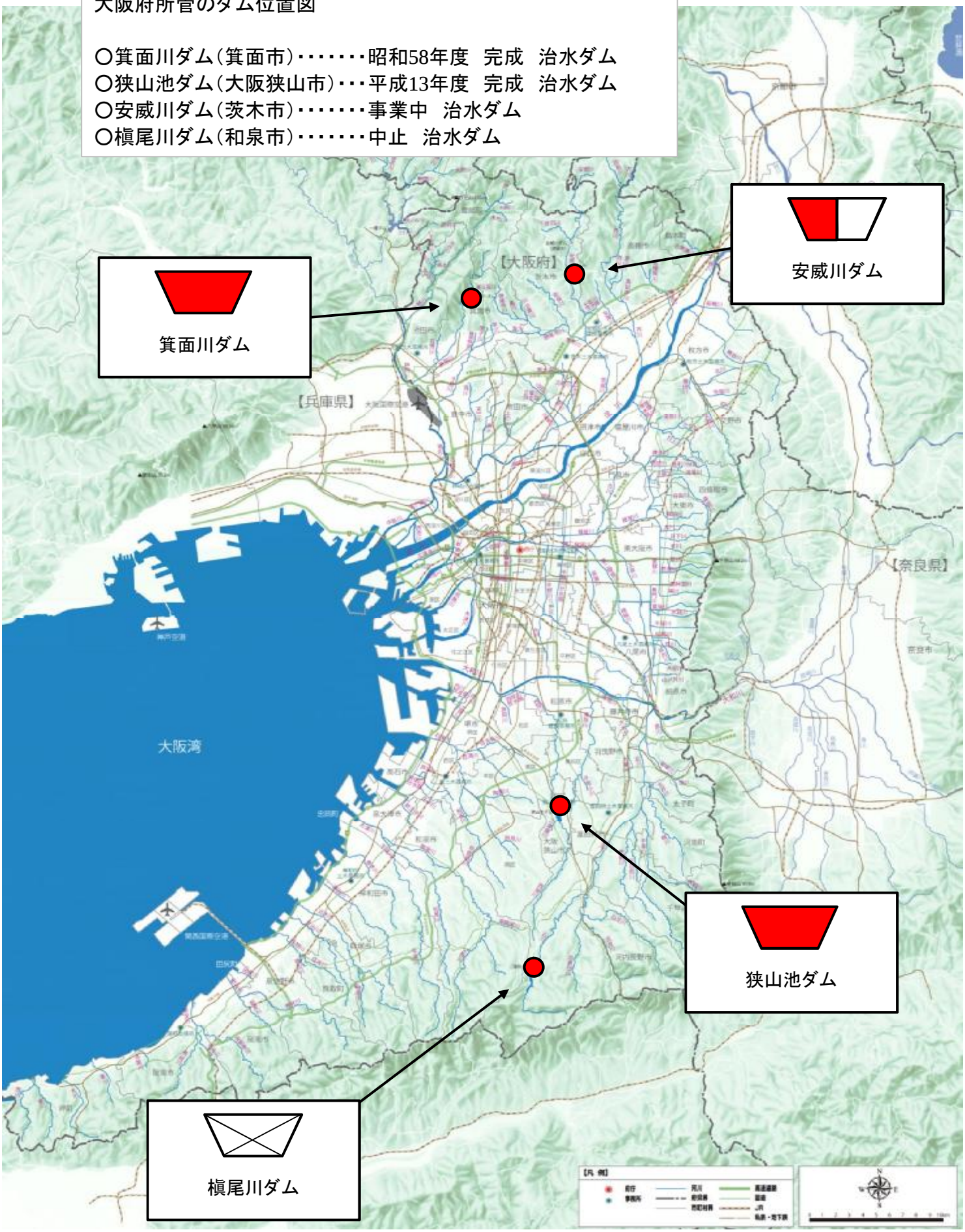
工　　種	種　別	細　別	債務負担全体計画		国債として施工及び支出すべき年度別内訳						摘　　要
					平成○○年度		平成○○年度		平成○○年度		
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
合計 （出来高予定額）											
支払限度額											

安威川ダム　該当なし

（注）１．工種、種別、細別は実施計画のそれぞれの費目によること。
　　２．作成上の注意事項については、別途通知する。

大阪府所管のダム位置図

〇箕面川ダム（箕面市）・・・・・・・昭和58年度　完成　治水ダム
〇狭山池ダム（大阪狭山市）・・・平成13年度　完成　治水ダム
〇安威川ダム（茨木市）・・・・・・・事業中　治水ダム
〇槇尾川ダム（和泉市）・・・・・・・中止　治水ダム



様式C7
年度別予算配分予定表

	事業名	多・治	（単位：百万円）	上：公共費率 下：国費率	総事業費	H23度 迄額	H24度 当初	H24度（推進費・補正・流用）	H25度 当初	H25度（推進費・補正・流用）	H26度	H27度	H28度	H29度	H30度	H31度	H32度	H33度	H34度	H35度	H36度 以降	実調開始	建設開始	基準妥結	本体発注	試験湛水	完成予定
	○○ダム	多	段階				④	④	④	④	④	③	③	②	②	①											
			事業費		47450	20,050	1,050	-	2,050	-	3,050	4,050	5,050	6,050	5,050	1,050											
			共同費	90.0%		20,000	1,000	-	2,000	-	3,000	4,000	5,000	6,000	5,000	1,000						S55	S63	H6	H27	H29	H30
			(公共費)			(18,000)	(900)	(0)	(1,800)	(0)	(2,700)	(3,600)	(4,500)	(5,400)	(4,500)	(900)											
			(国費)	50.0%		(9,000)	(450)	(0)	(900)	(0)	(1,350)	(1,800)	(2,250)	(2,700)	(2,250)	(450)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)						
			≪H22以降事務費≫			≪50≫	≪50≫	≪0≫	≪50≫	≪0≫	≪50≫	≪50≫	≪50≫	≪50≫	≪50≫	≪50≫											
大阪府	安威川ダム	多	段階			④	④	④	③	④	③	②	②	②	②	②	②	①									
			事業費		131,400	87,460	1,916	80	2,780	168	5,030	7,000	7,000	7,000	7,000	3,500	2,000	466	-	-	-						
			共同費	100.0%		87,390	1,886	80	2,750	168	5,000	7,000	7,000	7,000	7,000	3,500	2,000	466				S51	S63	H10	H25	H32	H33
			(公共費)			(87,390)	(1,886)	(80)	(2,750)	(168)	(5,000)	(7,000)	(7,000)	(7,000)	(7,000)	(3,500)	(2,000)	(466)	(0)	(0)	(0)	※水道分　H22末精算済み H23より治水100%					
			(国費)	55.0%		(48,065)	(1,037)	(44)	(1,513)	(92)	(2,750)	(3,850)	(3,850)	(3,850)	(3,850)	(1,925)	(1,100)	(256)	(0)	(0)	(0)						
			≪H22以降事務費≫			≪70≫	≪30≫	≪0≫	≪30≫	≪0≫	≪30≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫						
	大阪府　合計				131,400	87,460	1,916	80	2,780	168	5,030	7,000	7,000	7,000	7,000	3,500	2,000	466	-	-	-						
						87,390	1,886	80	2,750	168	5,000	7,000	7,000	7,000	7,000	3,500	2,000	466	-	-	-						
						(87,390)	(1,886)	(80)	(2,750)	(168)	(5,000)	(7,000)	(7,000)	(7,000)	(7,000)	(3,500)	(2,000)	(466)	(0)	(0)	(0)						
						(48,065)	(1,037)	(44)	(1,513)	(92)	(2,750)	(3,850)	(3,850)	(3,850)	(3,850)	(1,925)	(1,100)	(256)	(0)	(0)	(0)						
						≪70≫	≪30≫	≪0≫	≪30≫	≪0≫	≪30≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫						

・「段階」は下記の番号より**1つ記入してください。**
①完成　②本体工事　③転流工工事　④生活再建工事　⑤用地買収　⑥調査・地元説明　⑦既存施設の機能増強
・右の色で着色してください。
・「H22度迄額」には、推進費（北海道）・補正・流用を考慮し、H20以前の額は精算額としてください。
・この様式はこのまま集計しますので列挿入・削除はしないでください。
・2ダム1事業は個別に算出してください。
・公共費、国費は数式を反映していますが、過年度調整がある場合は手打ちで構いません。

① 完成
② 本体工事
③ 転流工工事
④ 生活再建工事
⑤ 用地買収
⑥ 調査・地元説明
⑦ 既存施設の機能増強

様式C7(a)

年度別予算配分予定表

	事業名	多・治	（単位：百万円）	上：公共費率 下：国費率	総事業費	H23度迄額	H24度当初	*H24度（推進費・補正・流用）*	H25度当初	*H25度（推進費・補正・流用）*	H26度	H27度	H28度	H29度	H30度	H31度	H32度	H33度	H34度	H35度	H36度以降	実調開始	建設開始	基準妥結	本体発注	試験湛水	完成予定
	○○ダム	多	段階				④	④	④	④	④	③	③	②	②	①											
			事業費		47450	20,050	1,050	-	2,050	-	3,050	4,050	5,050	6,050	5,050	1,050											
			共同費	90.0%		20,000	1,000	-	2,000	-	3,000	4,000	5,000	6,000	5,000	1,000						S55	S63	H6	H27	H29	H30
			(公共費)			(18,000)	(900)	(0)	(1,800)	(0)	(2,700)	(3,600)	(4,500)	(5,400)	(4,500)	(900)											
			(国費)	50.0%		(9,000)	(450)	(0)	(900)	(0)	(1,350)	(1,800)	(2,250)	(2,700)	(2,250)	(450)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)						
			≪H22以降事務費≫			≪50≫	≪50≫	≪0≫	≪50≫	≪0≫	≪50≫	≪50≫	≪50≫	≪50≫	≪50≫	≪50≫											
大阪府	安威川ダム	多	段階			④	④	④	③	④	③	②	②	②	②	②	②	①									
			事業費		131,400	87,460	1,916	80	2,780	168	5,030	7,000	7,000	7,000	7,000	3,500	2,000	466	-	-	-						
			共同費	100.0%		87,390	1,886	80	2,750	168	5,000	7,000	7,000	7,000	7,000	3,500	2,000	466				S51	S63	H10	H25	H32	H33
			(公共費)			(87,390)	(1,886)	(80)	(2,750)	(168)	(5,000)	(7,000)	(7,000)	(7,000)	(7,000)	(3,500)	(2,000)	(466)	(0)	(0)	(0)	※水道分　H22末精算済み					
			(国費)	55.0%		(48,065)	(1,037)	(44)	(1,513)	(92)	(2,750)	(3,850)	(3,850)	(3,850)	(3,850)	(1,925)	(1,100)	(256)	(0)	(0)	(0)	H23より治水100%					
			≪H22以降事務費≫			≪70≫	≪30≫	≪0≫	≪30≫	≪0≫	≪30≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫						
	大阪府　合計				131,400	87,460	1,916	80	2,780	168	5,030	7,000	7,000	7,000	7,000	3,500	2,000	466	-	-	-						
						87,390	1,886	80	2,750	168	5,000	7,000	7,000	7,000	7,000	3,500	2,000	466	-	-	-						
						(87,390)	(1,886)	(80)	(2,750)	(168)	(5,000)	(7,000)	(7,000)	(7,000)	(7,000)	(3,500)	(2,000)	(466)	(0)	(0)	(0)						
						(48,065)	(1,037)	(44)	(1,513)	(92)	(2,750)	(3,850)	(3,850)	(3,850)	(3,850)	(1,925)	(1,100)	(256)	(0)	(0)	(0)						
						≪70≫	≪30≫	≪0≫	≪30≫	≪0≫	≪30≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫	≪0≫						

・「段階」は下記の番号より1つ記入してください。

①完成　②本体工事　③転流工工事　④生活再建工事　⑤用地買収　⑥調査・地元説明　⑦既存施設の機能増強

・右の色で着色してください。

・「H22度迄額」には、推進費（北海道）・補正・流用を考慮し、H20以前の額は精算額としてください。

・この様式はこのまま集計しますので列挿入・削除はしないでください。

・2ダム1事業は個別に算出してください。

・公共費、国費は数式を反映していますが、過年度調整がある場合は手打ちで構いません。

①		完成
②		本体工事
③		転流工工事
④		生活再建工事
⑤		用地買収
⑥		調査・地元説明
⑦		既存施設の機能増強

（様式２の６）

平成26年度河川総合開発事業国庫債務負担行為調書

県名　：　　（単位：千円）

事業の名称		債務負担行為の目的及び内容	国庫債務負担行為限度額				年度割				備考
事業名	箇所名		事業費	国庫債務基本額	補助率	国庫債務金額	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
合計			0	0		0	0	0	0	0	

安威川ダム　該当なし

様式－L

平成25年度歳出予算の執行状況【共同費】

(単位：千円)

事業名	平成23年度						平成24年度							平成25年度				
	予算額A 上段：全体 下段：うち補正,流用分	歳出予算現額	不用額	繰越額B 上段：全体 下段：うち補正,流用分	繰越額B うち未契約分	繰越率※ 上段：全体 下段：うち補正,流用分	予算額 上段：全体 下段：うち補正,流用分	歳出予算現額	不用額	繰越額 上段：全体 下段：うち補正,流用分	繰越額 うち未契約分	繰越の主な要因	繰越率 上段：全体 下段：うち補正,流用分	予算額	歳出予算現額	未契約額	繰越見込額	繰越の主な要因
安威川ダム	1,600,000	1,500,846	1,840	97,300 0	0 0	1.0%	1,885,834 80,000	822,000	1,150	363,480 0	0 0	「計画に関する諸条件イ」	6.1%	2,750,000 168,181	2,110,000	808,181	728,300	「計画に関する諸条件イ」

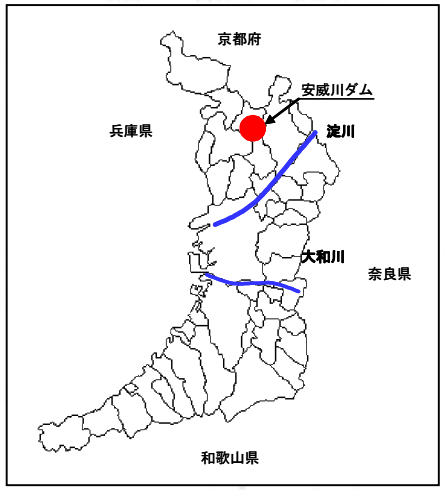
※繰越率 ＝（繰越額B）／（予算額A）× 100

様式－懸案

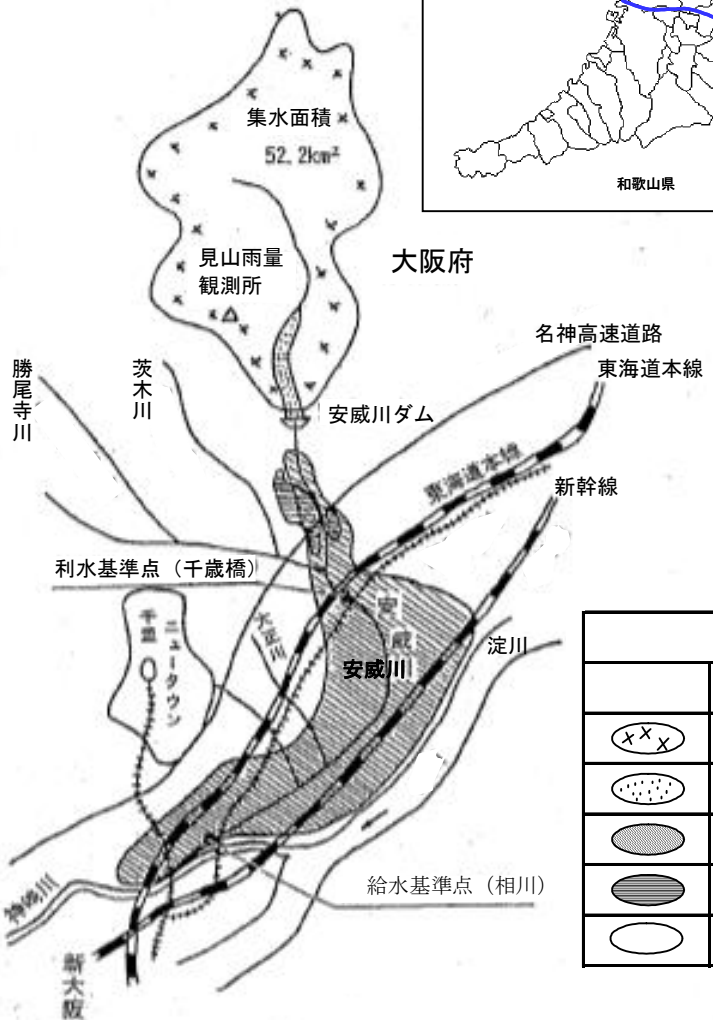
道府県・ダム名	27　大阪府	安威川ダム
懸案項目	ダムの検証による影響と事業推進について	
懸案内容	① 平成24年度末での用地買収率は約99%に達成する中、事業協力に応じない一部の地権者が残っている。 ② H33年度のダム完成に向けた本体工事推進のため、施工ピーク時の事業費（年70億円）を確保しなければならない。 ③ 住民団体から「府知事は安威川ダム建設事業への公金を支出させないなどの必要な措置を講じること」との旨の住民監査請求が提出されている。	
対応方針	① 未買収地については、ダム完成までのスケジュールに併せて、平成20年度より事業認定の準備に着手。平成26年度早期の事業認定取得（告示）を目指し、協議継続中。 ② 大阪府内部の調整を早期に行い、必要な補助金については国に要望していく。 ③ H25.12.20に監査（意見陳述）を実施し、H26.1.24までに監査結果を決定予定。請求人が監査結果に不服として住民訴訟が行われた場合でも、適切に対応していく。	
参考	・【工事進捗情報】 付替道路は平成22年9月に供用開始 【用地取得の状況】 平成25年12月末で水没地99%（141ha/142ha） コア山　96%（4.9ha/5.1ha） ・ H17.12.26 再々々評価意見具申　：　結果「事業継続は妥当」と判断。 ・ H18. 1.23 大阪府の方針　：「安威川ダムについては事業継続とし、今後ダム本体工事に着工してい ・ H19. 2.14 安威川ダムを含めた神崎川ブロックの河川整備計画認可 ・ H19. 4.25 安威川ダム全体計画変更認可 ・ H21. 8.31 大阪府戦略本部会議において、利水の撤退方針及び治水ダムとしての継続方針を決定 ・ H23. 3.30 大阪府河川整備委員会において、治水手法はダムが妥当との審議結果 ・ H23. 9.13 大阪府河川整備委員会において、ダム形式について、現計画案が妥当との審議結果 ・ H23.10. 7 安威川ダム検証に係る検討結果報告書を国へ提出 ・ H24. 4.26 今後の治水対策のあり方に関する有識者会議で安威川ダムの審議 ・ H24. 6.11 国の対応方針決定「補助金交付を継続」 ・ H24.12.27 転流工工事契約 ・ H25. 6.21 安威川ダムを含めた神崎川ブロックの河川整備計画変更認可 ・ H25. 7. 5 安威川ダム全体計画変更認可 ・ H25.12.16 本体工事仮契約（H26.3月 本契約締結予定） 財政再建プログラム ・H20年度から22年度までの3年間を集中改革期間と定め、新たな財政改革に着手する。 ・建設事業は原則2割削減。財政状況をにらみ、事業スピードを見直す。 ・安威川ダムを主要プロジェクトとして見直し点検。 (点検結果） ダムとしての事業継続は妥当と判断。 （財政事情に鑑み、平成21年度の本体着手を見送り。） （部方針案） ・財プロ案どおり、H21年度の本体着工は見送るが、予算の重点配分により生活再建対策に必要な事業費を確保するとともに、治水効果の早期発現に努める。	

安威川　安威川ダム建設工事計画説明図（大阪府）

位　置　図

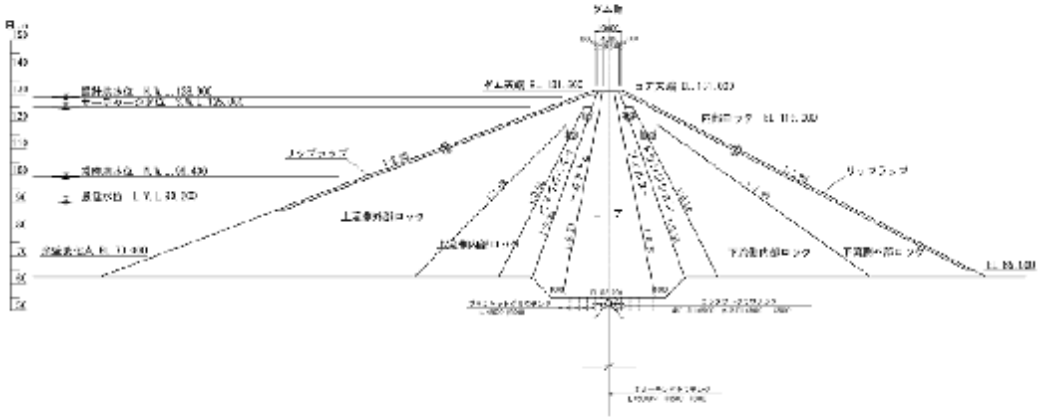


流 域 一 覧 図

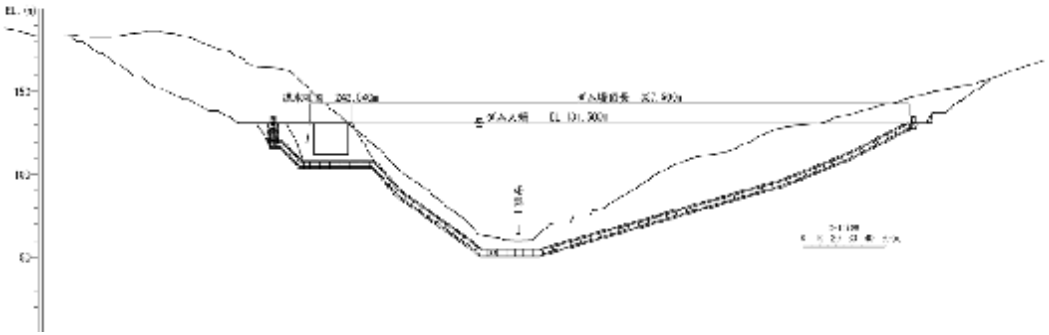


凡　例	
	ダムサイト
	集水区域
	湛水区域
	洪水氾濫防止区域
	不特定用水補給区域
	都市用水給水区域

標準断面図



堤体下流面図



様式7の3（詳細）

平成26年度　安威川ダム建設工事年度別内訳及び実施内容（詳細版）

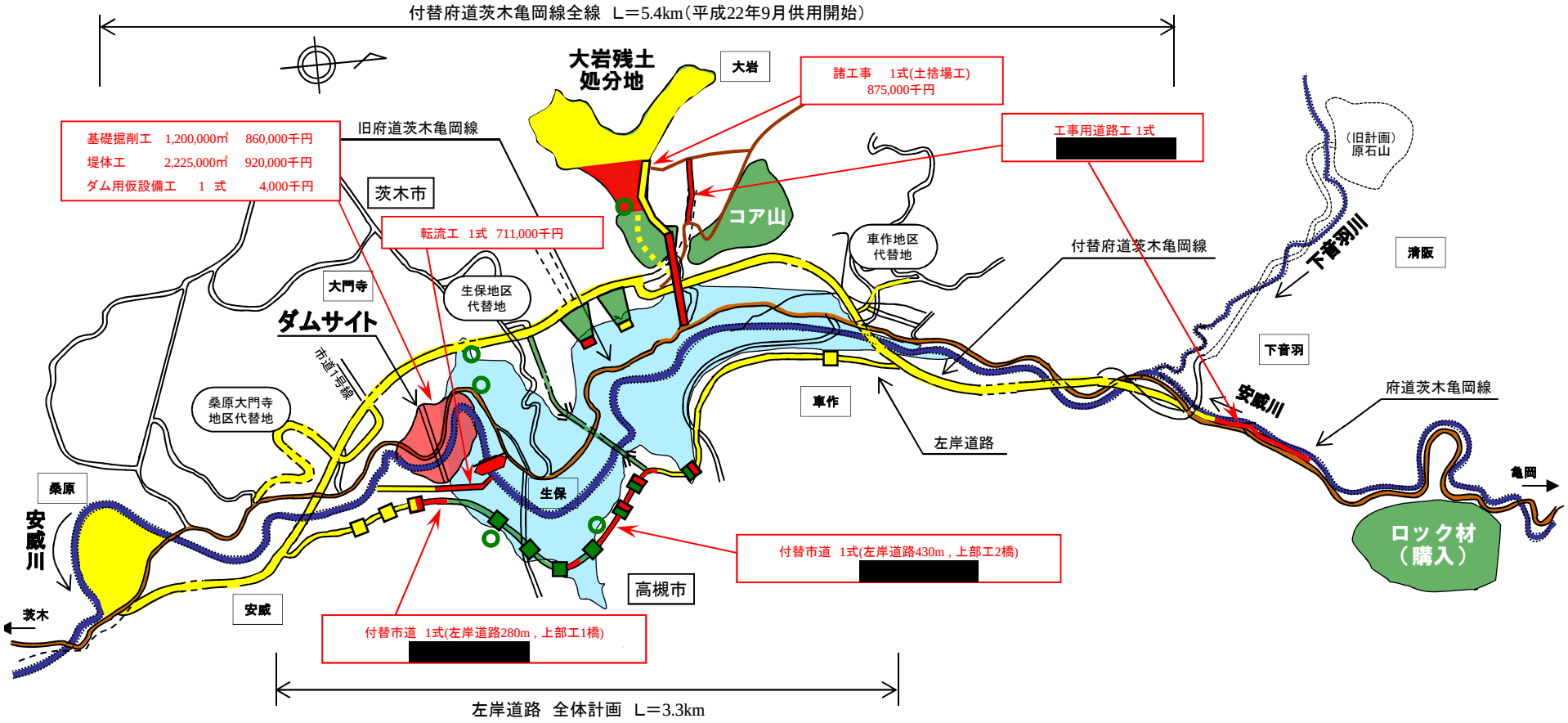
27　大阪府

目細	費目	工種	総事業費 金額	平成25年度 金額	平成25年度 まで金額	平成26年度 以降金額	平成26年度 金額	整理番号	項目	数量	金額（千円） 債務義務額	義務的経費	その他金額	債務額又は年割り額（百万円） 取得年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考	優先順位
工事費			129,768,000	2,918,181	73,238,945	56,529,055	5,000,000		利水撤退負担金関連費含まない													
	本工事費		39,450,000	1,638,181	13,566,520	25,883,480	3,680,000															
		ダム費	36,369,000	1,518,181	10,878,802	25,490,198	3,370,000	1	転流工													1
									仮排水路工	1 式	491,000			H24	185	758	491				トンネル	
									上流仮締切	1 式	220,000			H25		0	220	200			CSG等	
								2	諸工事（土捨場工）													6
									残土処分地整備	1 式	875,000			H24	613	750	875	1211	1366	901		
								3	基礎掘削工													4
									基礎掘削	1,199,934 ㎥	860,000			H25		0	860	1440	100			
								4	堤体工													5
									堤体盛立	2,225,020 ㎥	920,000			H25		0	920	2160	3000	2500		
								5	ダム用仮設備工													7
									濁水処理施設設置	1 式	4,000			H25		0	4					
		管理設備費	1,417,000	0	0	1,417,000	0															
		仮設備	1,335,000	120,000	120,000	1,215,000	310,000	6	[redacted]													
		工事用動力費	329,000	0	0	329,000	0															
	測量設計費		9,301,000	244,000	8,890,938	410,062	364,000															
								7	[redacted]													
								8														
								9														
	用地費及補償費		80,997,000	1,036,000	71,071,776	9,925,224	956,000															
		補償費	54,537,000	245,000	51,679,441	2,857,559	166,000	10	[redacted]													
								11														
								12														
		補償工事費	26,460,000	791,000	19,392,335	7,067,665	790,000	13														
	船舶及機械器具費		20,000	0	16,429	3,571	0															
（事務費）			1,632,000	30,000	1,416,086	215,914	30,000							債務額又は年割り額（百万円）	H24	H25	H26	H27	H28	H29	備考	
利水撤退負担金関連費					(20,306,718)				小計		[redacted]											
									合計													

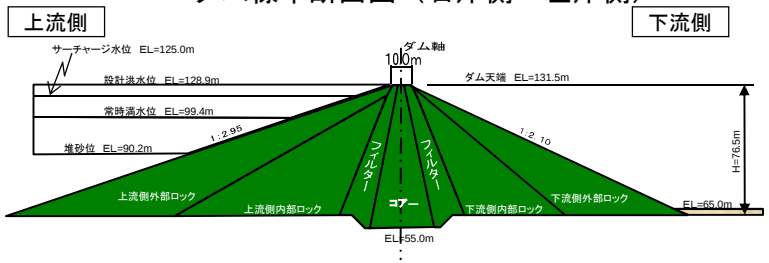
【様式7の4詳細】

安威川ダム事業計画概要図

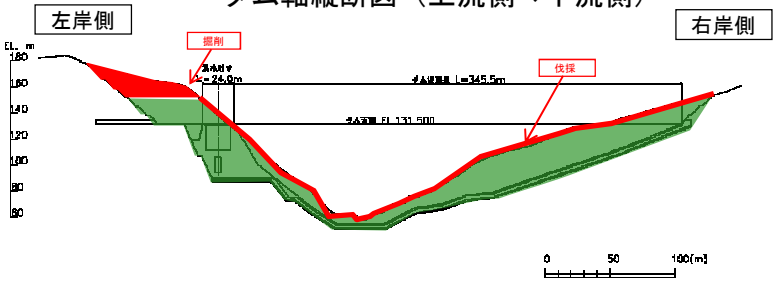
【大阪府】



ダム標準断面図（右岸側⇒左岸側）



ダム軸縦断図（上流側⇒下流側）



凡　例

- H25年度まで
- H26年度実施
- H27年度以降

27

大阪府ダム事業計画概要図

平成26年1月

様式－E

安威川ダム建設工事年度別工事予定表

大阪府

工種	種別	数量	平成20年度迄	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
				4～6 7～9 10～12 1～3	4～6 7～9 10～12 1～3	4～6 7～9 10～12 1～3	4～6 7～9 10～12 1～3	4～6 7～9 10～12 1～3	4～6 7～9 10～12 1～3	4～6 7～9 10～12 1～3	4～6 7～9 10～12 1～3	4～6 7～9 10～12 1～3	4～6 7～9 10～12 1～3	4～6 7～9 10～12 1～3	4～6 7～9 10～12 1～3	4～6 7～9 10～12 1～3
堤体工事	仮排水路・仮締切	1 式														
	基礎掘削	1,199,934 ㎥														
	ボーリング グラウト	20,000 m														
	盛り立て	2,224,000 ㎥														
	コンクリート	87,400 ㎥														
	放流設備	1 式														
	取水設備	1 式														
仮設備	電気設備	1 式														
	工事用道路	9 km														
	骨材プラント	1 式														
	コンクリートプラント	1 式														
補償	道路関係	15 km														
	用地交渉	1 式														
その他	管理設備	1 式														
	湛水開始															

様式Ｃ４

今後２ケ年に本体発注を予定しているダムについて

ダム名		道府県名
本体工事発注予定年月		
現状	用地取得状況 （本体及び貯水池）	
	準備工事の進捗状況（H25 末進捗状況及び今後の見込み）	
本体 発注 務手 にて		
その		
	再評価委員会の審議状況	
	基本設計会議の実施状況	
	本体工事に関する環境対策	
その他特記事項		

安威川ダム　該当なし

ダム名：

様式-環境

環境情報調査票

ダム名【安威川ダム】

（1）　貴重な動物・植物

	種名	天然記念物	絶滅危惧ＩＡ	絶滅危惧ＩＢ	その他	調査方法	生息箇所	保全対策の必要性	保全対策案
哺乳類									
両性類 爬虫類	オオサンショウウオ	○				現地調査	[redacted]	あり	個体の移動　（落差部対策は魚道設置によりダム上流部へ移動）
鳥類	オジロワシ クマタカ オオタカ	○		○ ○	 ○ ○	現地調査	[redacted]	なし なし あり	 繁殖に配慮した工程調整、工法採用
魚類	アジメドジョウ カジカ（陸封型）				○ ○	現地調査	[redacted]	あり なし	生息環境の創出
陸上昆虫									
底生動物その他									
植物	コバノヒルムシロ イトトリゲモ キイムヨウラン サンショウモ タヌキモ フジバカマ オグルマ セキショウウモ ノカンゾウ ホシクサ ミズニラ スブタ		○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	現地調査	[redacted]	なし なし なし なし なし なし なし なし なし なし なし なし	

※天然記念物の欄には文化財保護法にあたるもの（条例は除く）に全て○印をつける。
※絶滅危惧種は環境省のﾚｯﾄﾞﾘｽﾄに該当のある種に全て○印をつける。
※天然記念物・絶滅危惧種以外の貴重種（県ﾚｯﾄﾞﾘｽﾄ記載等）はその他の欄に○印をつける。大阪府レッドリストの記載のうち絶滅危惧Ｉ類のみ記載
※調査方法は「文献調査」「現地調査」かのいずれかを記載。
※生息箇所はダム流域内において「事業地全域」「ダムサイト」「湛水区域内」「ダム上流」「ダム下流」いずれかの記述とする。
※保全対策案は現時点で検討対象について簡潔に述べること。
※概算要求時から変更のあった箇所は、赤書きとして下さい。（その他の項目についても、同様）

（2）　水質

	課題の有無	保全対策案
冷濁水問題	冷水：農業用水（将来予測による） 濁水：ダム湖の濁り長期化（将来予測による）	選択取水 発生源対策、副ダム、シルトフェンス設置
富栄養化その他の水質問題	富栄養化（将来予測による）	ばっ気、循環等

※課題とは将来予測による懸念の他、農業及び漁協など地元から保全対策の要請があがってきているものも含む。

様式-環境

（3）　景観・名勝

	公園名／名勝名	事業区間との重なり
国立・国定公園 都道府県立公園	府立自然公園竜王地区	隣接地
文化財保護法で指定された名勝等		

※公園については第一種区域にかかるものについて記載。
※事業区間との重なりは「事業地全域」「ダムサイト」「湛水区域内」「ダム上流」「ダム下流」などの記述。

（4）　関連事業計画

関連計画・事業名	関係が予想される問題
国際文化公園都市、新名神高速道路	

※ダム建設において、事務所が環境面で関連の深いと考えられる計画・事業。

（5）　環境影響評価の状況

手続方法	進捗	今後の対応
条例	完了	安威川ダム自然環境保全マスタープランを策定し、それに基づく安威川ダム自然環境保全対策実行計画（案）を作成

※手続きが法・条例・閣議に該当しないものについては、環境に関して取りまとめた資料作成の有無を今後の対応欄に書名を記載。
※環境影響評価の対象とならないダムは手続き方法の欄に「対象外」と記入

（6）　地元・自然保護団体等の動き

団体等名 （活動内容）	環境に関する論点
・安威川ダム反対市民の会 （情報開示請求）	・自然環境に悪影響を与える
・安威川の自然を守る会 （情報開示請求）	・自然環境に悪影響を与える
・茨木北部丘陵地域の自然を守る市民会議安威川ダムはいりまへん府民の会 （情報開示請求）	・自然環境に悪影響を与える

※活動内容は「意見書提出」「情報開示請求」等を記載。
※環境に関する論点は反対等の内容のうち環境面について簡潔に記載。

（別添）

安威川ダム（大阪府　）アローダイヤグラム

単位：百万円【共同費】

厳重取扱注意

工種		合計	21年度 実施額	22年度 実施額	23年度 実施額	24年度 実施額	25年度 予定額	26年度 予定額	27年度 予定額	28年度 予定額	29年度 予定額	30年度 予定額	31年度 予定額	32年度 予定額	33年度 予定額
測量・試験費	水文調査	9,301	8	8	12	12	16								
	補償調査（用地・立木・物件等）		—	—	—	—									
	ダム本体設計		44	20	—	—	75								
	自然環境調査		20	20	21	21	21								
	保全対策		20	15	13	13	7								
	広報誌作成		7	7	15	15	15								
	付替市道実施設計		56	39	35	266	110								
	コア山調査設計		—	—	—	—	—								
	その他検討委託 現場管理業務		—	—	—	—	—								
	残土処分地 調査検討・設計		50	55	50	—	—								
用地補償	補償費（用地・補償）	54,537	1,250	250	720	120	130								
			1,410	2,095	10	10	10								
	補償費（コア山、他）		90	200	—	—	105								
代替地	代替地関連		—	—	—	—	—								
	桑原・大門寺、生保、車作		—	—	—	—	—								
補償工事（付替道）	左岸道路（道路工）	26,460	150	—	250	561	591								
	左岸道路（下部工）		300	100	150	155	120								
	左岸道路（上部工）		-	50	20	100	80								
	安威地区		270	464	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	安威地区ⅠⅡ橋梁		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	桑原地区　1号橋梁（進入路・下部工）		50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	桑原地区　1号橋梁（上部工）		125	200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	大門寺地区		400	506	135	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	大門寺地区 1号トンネル		330	150	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	生保地区		—	200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	大岩（コア山市道付替）		20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	舗装工（1）		50	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	舗装工（2）		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	車作地区 4号橋・茨木摂津線		450	240	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	車作地区 2号トンネル		500	150	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	車作地区 5号橋		500	470	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ダム費・仮設費	コア山運搬路設置工事	38,450	-	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	原石山運搬路現道拡幅工事		50	—	120	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	コア材採取		—	—	—	—	350	350	350	300	100	—	—	—	—
	ロック材運搬、仮置		—	—	—	920	710	410	—	—	—	—	—	—	—
ダム本体	転流工工事		0	185	758	491	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	仮締め切り		—	—	—	220	200	—	—	—	—	—	—	—	—
	基礎掘削		—	—	—	864	1,440	100	—	—	—	—	—	—	—
	堤体盛立		—	—	—	—	1,100	2,240	2,150	2,400	1,261		700		—
	洪水吐工			—	—	—	500	1,000	1,000	1,000	575		—		—
	機械設備工		—	—	—	—	—	—	1,350	1,600	550	710		381	
土捨場	残土処分地整備（桑原） 9.4ha 30万㎥		250	116	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	残土処分地整備（大岩） 21.8ha 300万㎥		300	395	169	507	760	875	1,211	1,366	901	406	—	—	—
植生回復		1,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	500	500	—
その他（営繕費事務費機械器具費等）		1,652	0	-	<0>	<30>	<30>	<30>	<30>	<30>	<30>	<30>	<30>	<30>	<30>
工種		合計	実施額	実施額	実施額	予定額	予定額	予定額	予定額	予定額	予定額	予定額	予定額	予定額	予定額
合計額		131,400	6,700	5,750	1,600	1,965	2,918	5,000	7,000	7,000	7,000	7,000	3,500	2,000	466

平成26年度　実施計画事業費総括整理表

様式7の3　整理

地整名	県名	ダム名	項目	費目	細目	様式7の3 工種	No.	種別	No.	チェック	数量	単位	金額(千円)	様式7の3(詳細) 項目	備考	数量	単位	金額(千円)
86近畿	27大阪府	安威川ダム	工事費	本工事費	ダム費	転流工	2	転流工	2	OK	1	式	491,000	仮排水路工	トンネル	1	式	491,000
						転流工	2	転流工	2	OK	1	式	220,000	上流仮締切	CSG等	1	式	220,000
						諸工事	13	土捨場工	13	OK	1	式	875,000	残土処分地整備		1	式	875,000
						基礎掘削工	3	基礎掘削工	3	OK	1,199,934	m^3	860,000	基礎掘削		1,199,934	m^3	860,000
						堤体工	7	堤体盛立工	7	OK	2,225,020	m^3	920,000	堤体盛立		2,225,016	m^3	920,000
						ダム用仮設備工	17	濁水処理設備	17	OK	1	式	4,000	濁水処理設備設置		1	式	4,000
86近畿	27大阪府	安威川ダム	工事費	本工事費	管理設備費													
86近畿	27大阪府	安威川ダム	工事費	本工事費	仮設備費													
86近畿	27大阪府	安威川ダム	工事費	本工事費	工事用動力費													
86近畿	27大阪府	安威川ダム	工事費	測量設計費	測量設計費													
86近畿	27大阪府	安威川ダム	工事費	用地費及補償費	補償費													
86近畿	27大阪府	安威川ダム	工事費	用地費及補償費	補償工事費													
86近畿	27大阪府	安威川ダム	工事費	船舶及機械器具費	船舶及機械器具費													
86近畿	27大阪府	安威川ダム	事務費	事務費	事務費	事務費	52	事務費	52	OK		式						
			工事諸費	工事諸費	工事諸費													

						様式7-3	様式7-3(詳細)
工事費	本工事費					3,680,000	3,680,000
			ダム費			3,370,000	3,370,000
			管理設備費			0	0
			仮設備費			310,000	310,000
			工事用動力費			0	0
	測量設計費					364,000	364,000
	用地補償費					956,000	956,000
			補償費			166,000	166,000
			補償工事費			790,000	790,000
	船舶及び機械器具費					0	0
事務費						0	0
工事諸費						0	0
計						5,000,000	5,000,000

安威川ダム建設事業の進捗状況

（平成26年3月末時点想定）

補償基準	H11.2 関係5地区　補償基準妥結（地権者との用地補償等に係る基準はすべて妥結）
用地取得 （ 141 / 142 ha ）	99%
家屋移転 （ 69 / 69 戸 ）	100%
付替道路 （ 10 / 15 km ）	69%
転流工 （ 381 / 578 m ）	66%
本体工事	0%（基礎掘削 （ 0 / 1,200 千m3 ）） 0%（コンクリート打設（ 0 / 2,225 千m3 ）） 未実施（試験湛水）

用地取得・家屋移転　付替道路　転流工　本体関連

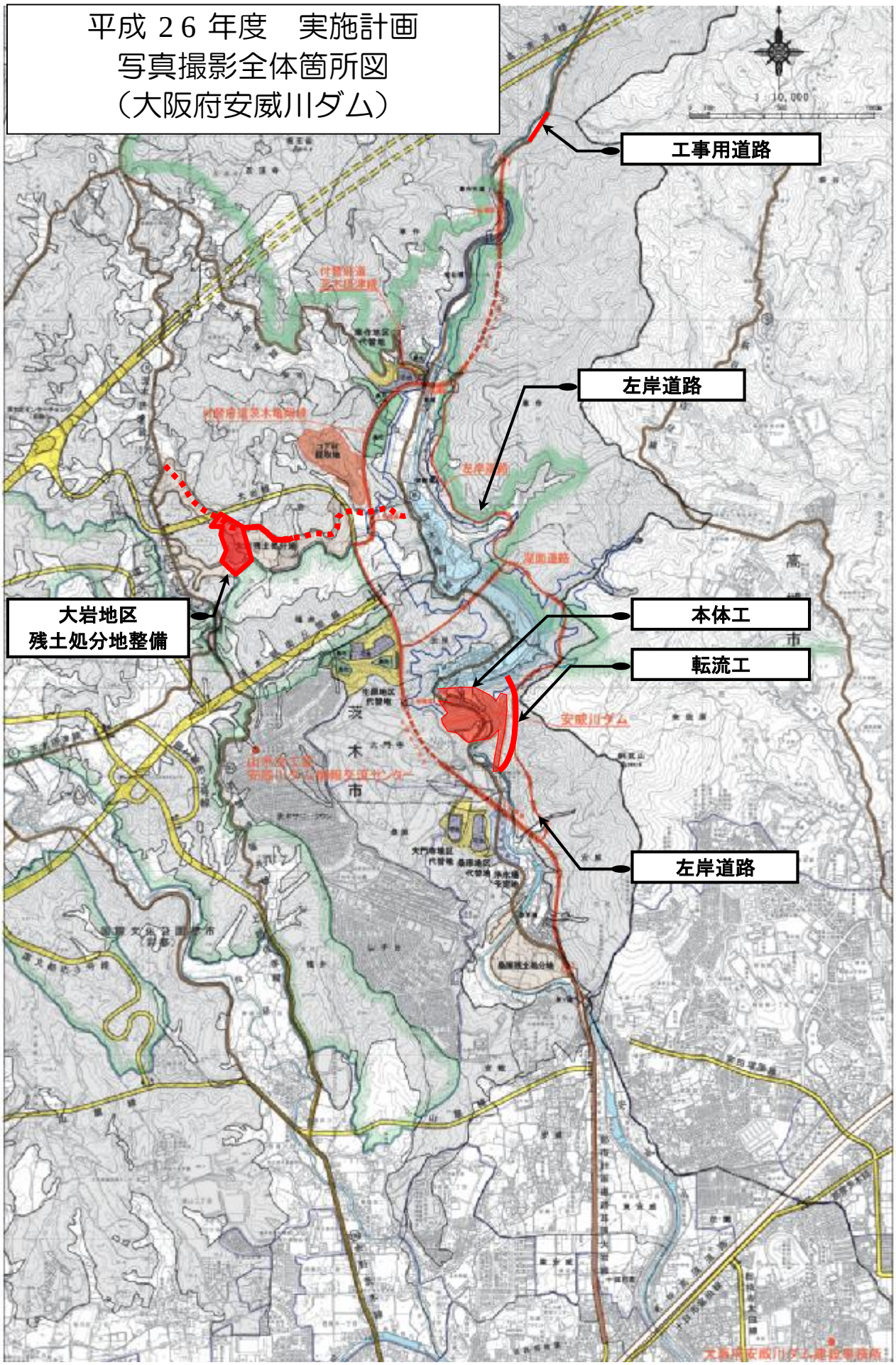
安威川ダム建設事業の進捗状況

（平成27年3月末時点想定）

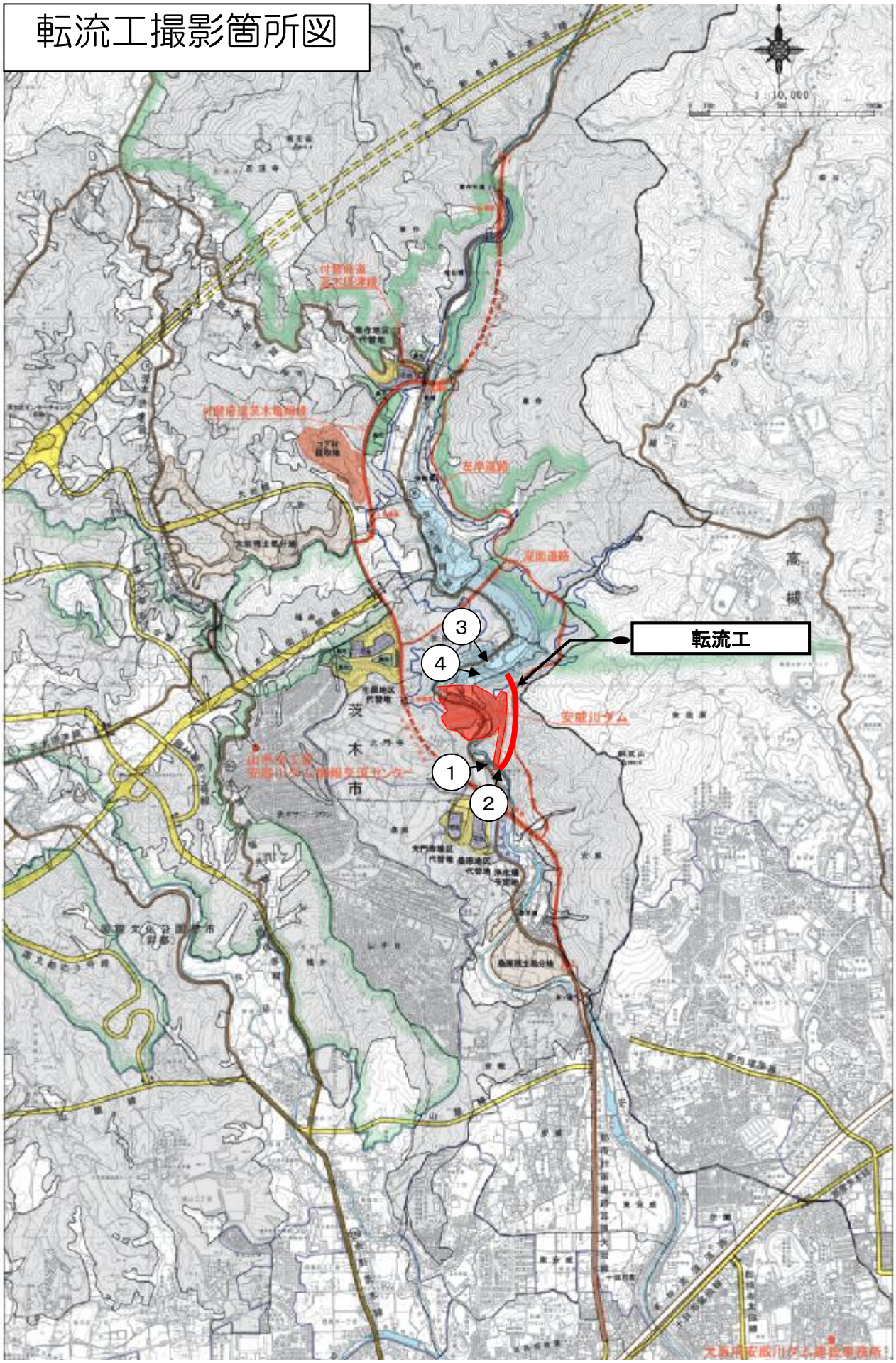
補償基準	H11.2 関係5地区　町補償基準妥結（地権者との用地補償等に係る基準はすべて妥結）
用地取得 （ 142 / 142 ha ）	100%
家屋移転 （ 69 / 69 戸 ）	100%
付替道路 （ 11 / 15 km ）	76%
転流工 （ 578 / 578 m ）	100%
本体工事	36%（基礎掘削 （ 430 / 1,200 千m3 ）） 0%（コンクリート打設 （ 0 / 2,225 千m3 ）） 未実施（試験湛水）

用地取得・家屋移転　付替道路　転流工　本体関連

平成 26 年度　実施計画
写真撮影全体箇所図
（大阪府安威川ダム）



転流工撮影箇所図



転流工　27大阪府　安威川ダム　平成26年1月撮影

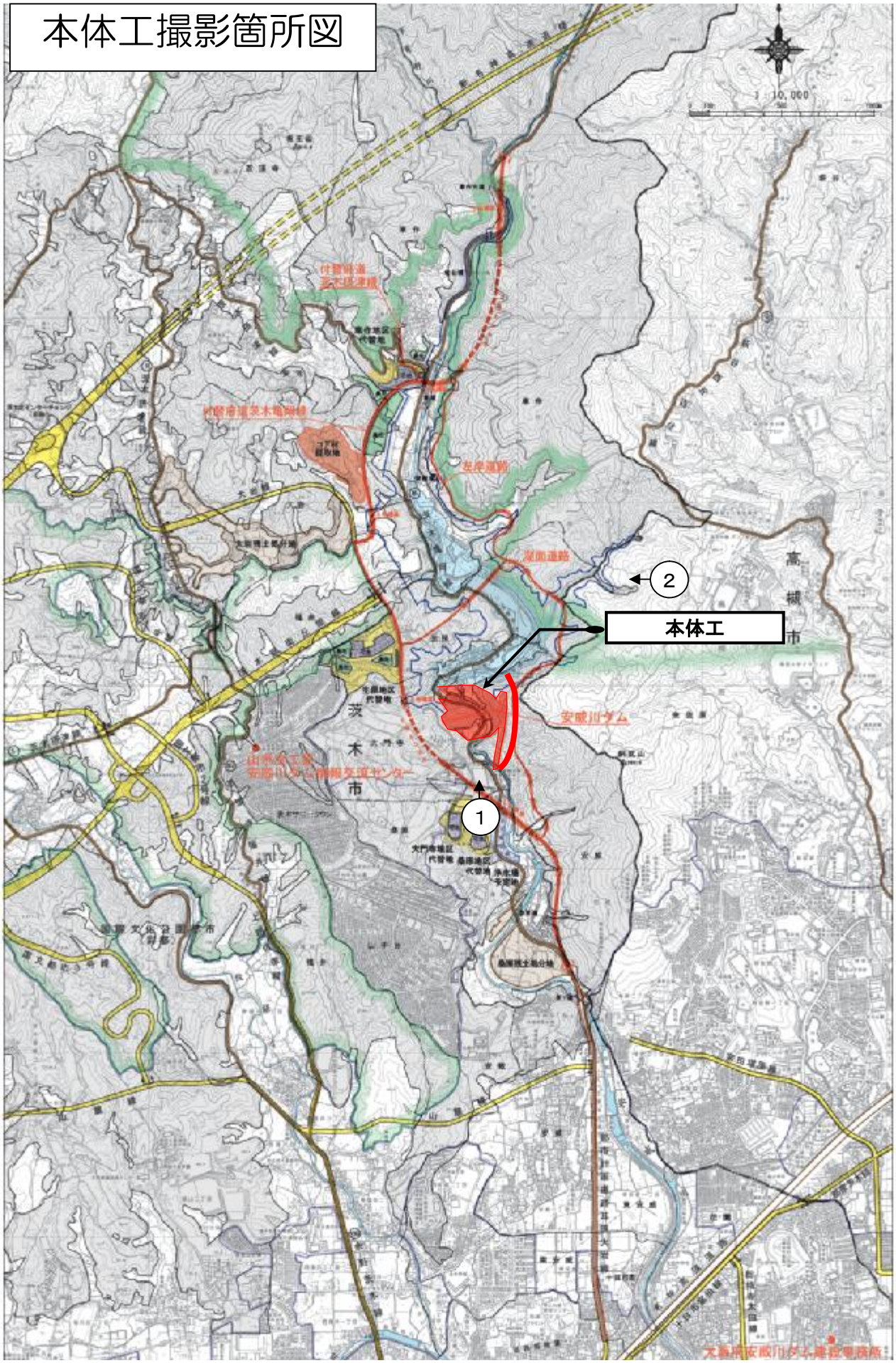
① 吐口部

② 吐口部

③ 呑口部

④ 呑口部

本体工撮影箇所図

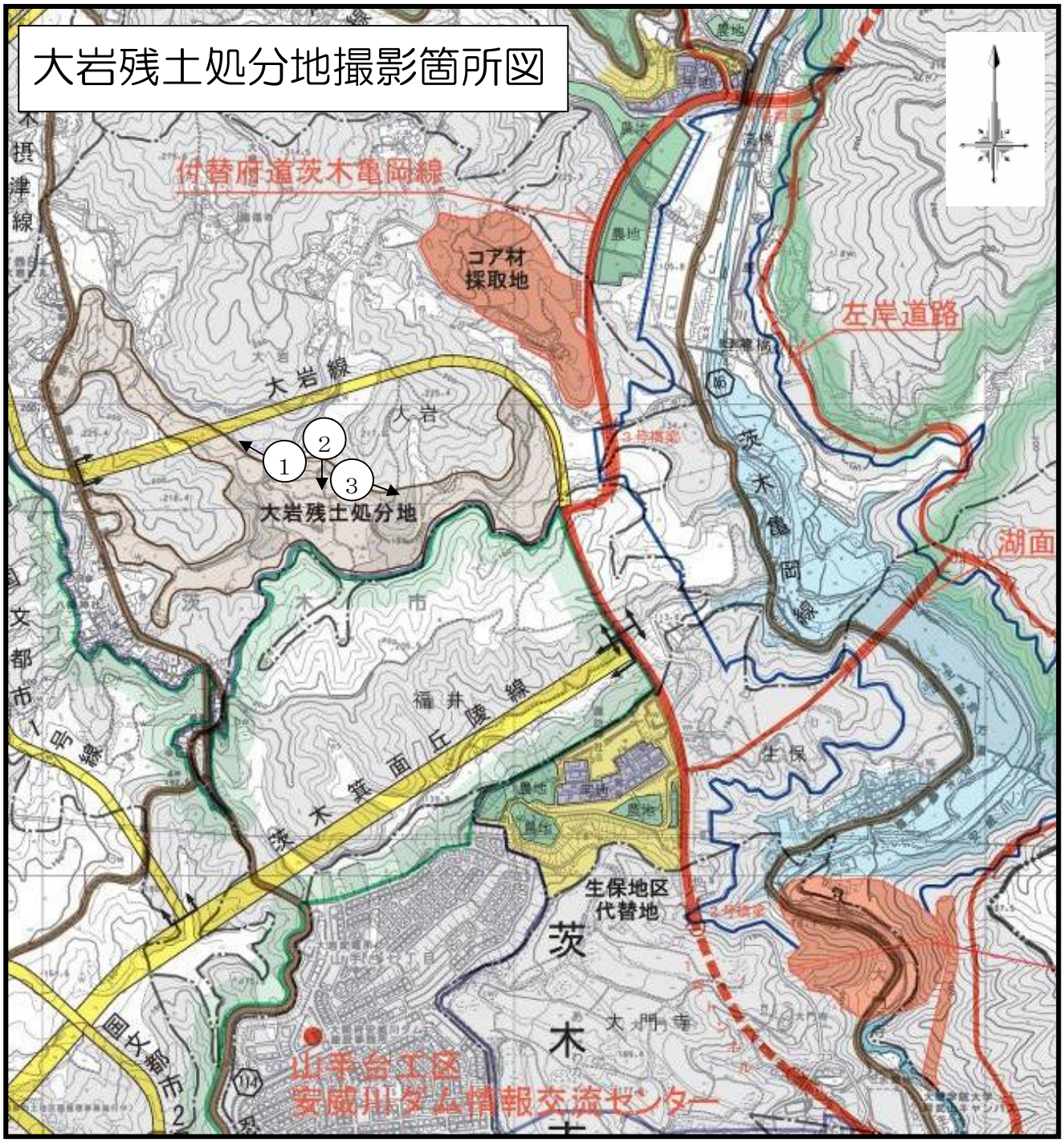


本体工　27大阪府　安威川ダム

① 下流から

② 左岸側から

大岩残土処分地撮影箇所図



大岩残土処分地　27大阪府　安威川ダム　平成26年1月撮影

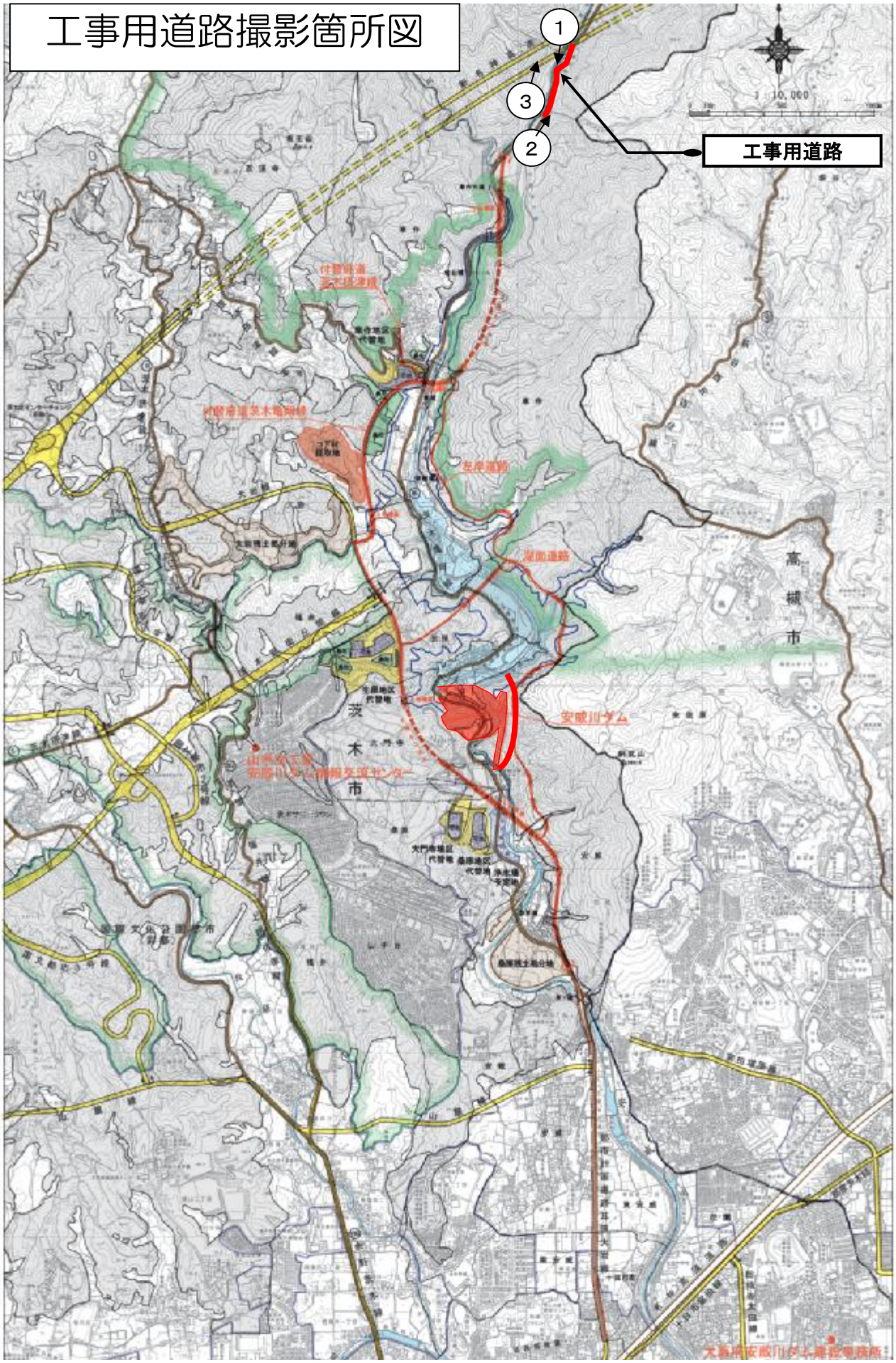
① H25実施箇所

② H26実施予定箇所

③ H26実施予定箇所

④ 全景

工事用道路撮影箇所図



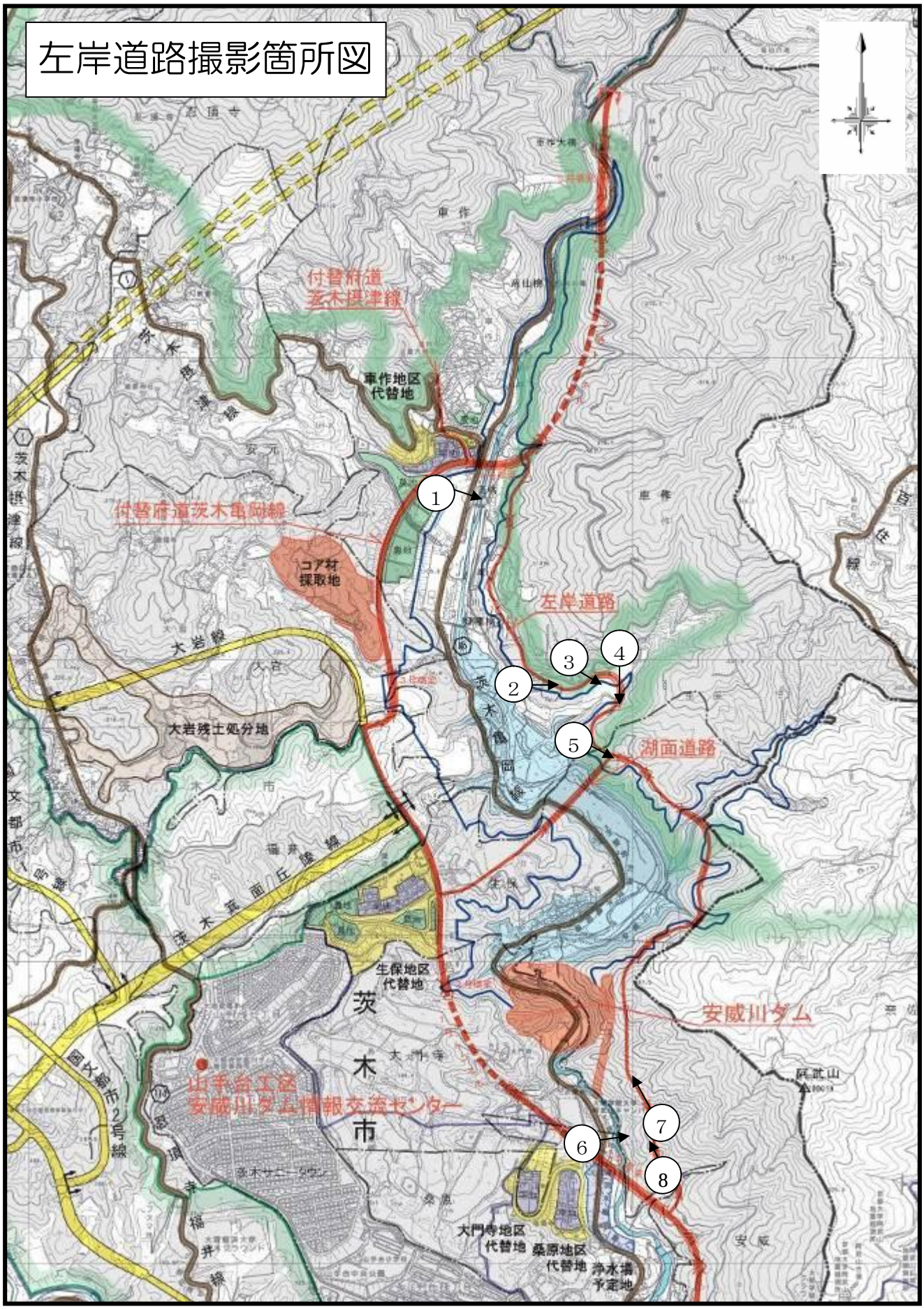
工事用道路　27大阪府　安威川ダム　平成26年1月撮影

① H25実施箇所

② H26実施予定箇所

③ H26実施予定箇所

左岸道路撮影箇所図


付替府道
茨木摂津線
車作地区
代替地
付替府道茨木亀岡線
コア材
採取地
左岸道路
大岩残土処分地
湖面道路
生保地区
代替地
茨
木
市
安威川ダム
山手台工区
安威川ダム上流情報交流センター
大門寺地区
代替地
桑原地区
代替地
浄水場
予定地
1
2
3
4
5
6
7
8

左岸道路　27大阪府　安威川ダム　平成26年1月撮影

① 過年度実施済

② H25実施箇所

③ H25実施箇所

④ H25実施箇所

左岸道路　27大阪府　安威川ダム　平成26年1月撮影

⑤ H26実施予定箇所

⑥ H26実施予定箇所

⑦ H26実施予定箇所

⑧ H25実施箇所

自然環境調査　27大阪府　安威川ダム

アジメドジョウ ①

オオタカ ②

オオサンショウウオ ③

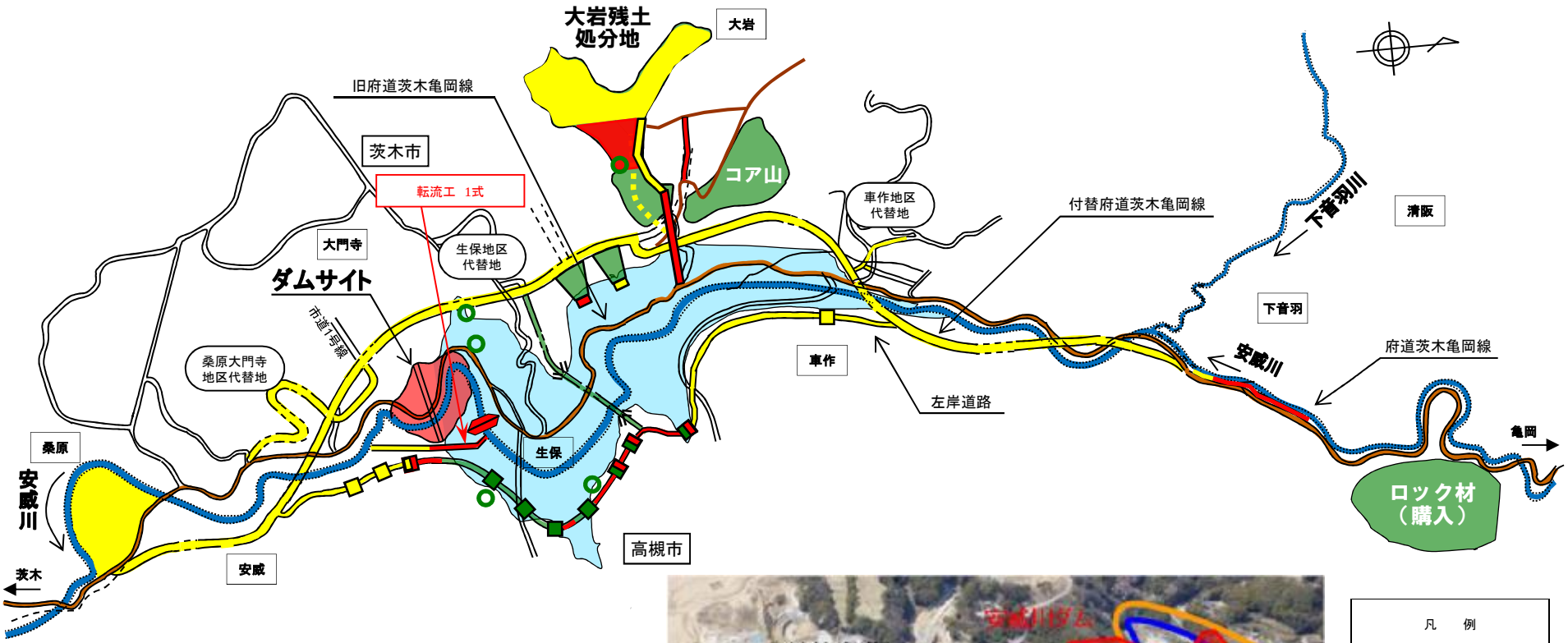
カワガラス ④

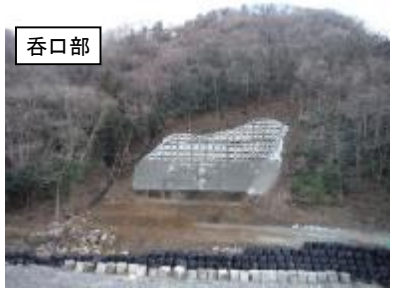
フクロウ ⑤

ムギツク ⑥

ヤマセミ ⑦

安威川ダム（転流工）





凡　例

- H25年度まで
- H26年度実施
- H27年度以降

・転流工の推進を図るものである。

安威川ダム（基礎掘削工・堤体工・ダム用仮設備工）

凡　例

- H25年度まで
- H26年度実施
- H27年度以降

・基礎掘削工、堤体工、ダム用仮設備工の推進を図るものである。

安威川ダム（残土処分地工事）

凡　例

- H25年度まで
- H26年度実施
- H27年度以降

・残土処分地整備の推進を図るものである。

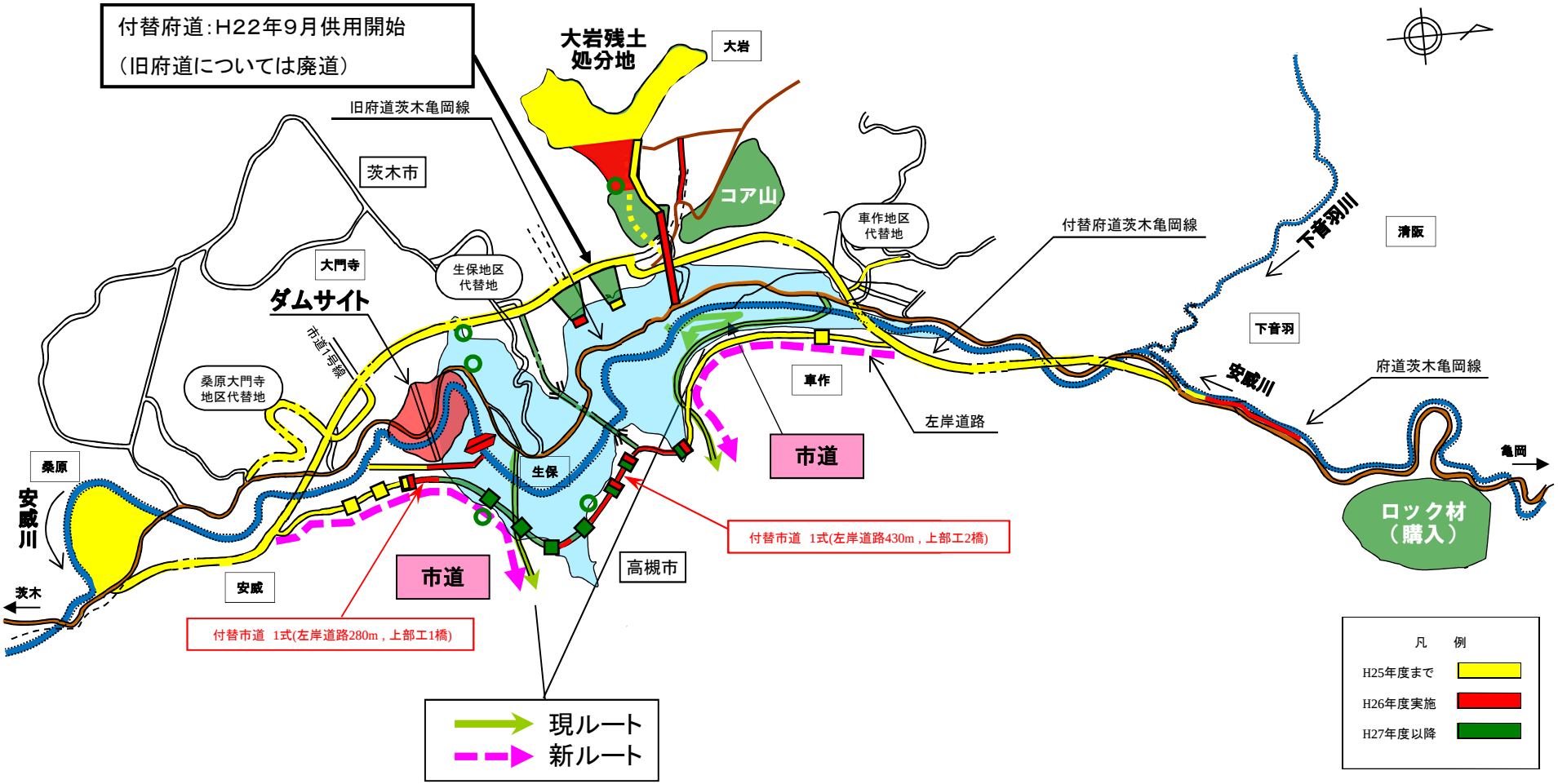
安威川ダム（工事用道路工）

凡　例

- H25年度まで
- H26年度実施
- H27年度以降

・工事用道路として、府道を拡幅するものである。

安威川ダム（付替市道工事）



・H22年9月に付替府道を供用開始したことに伴い、旧府道を廃道した。左岸側へのアクセスは、旧府道から分岐する市道が3路線存在する。旧府道の廃道後も左岸側へのアクセスを確保する必要があるため、生活再建対策として左岸道路の事業進捗を図る。

H26 実施計画（ダムの必要性、緊急性）説明資料　【大阪府安威川ダム】

ｉ）治水の必要性・緊急性・・・・・・・・・Ｐ４～Ｐ２４

〇ダムによる治水基準点等でのカット量、水位低下量・・・　Ｐ６

治水基準点相川地点で６００ｍ３／ｓカット（1850m3/s→1250m3/s）、水位低下量６８㎝

〇ダムによる氾濫区域の減少量、被害軽減額・・・Ｐ７～Ｐ９

氾濫防止区域２６０２ha

区域内人口約２１万人、家屋数約８．０万戸

区域内主要施設：東海道新幹線（新幹線基地）、JR 東海道本線、私鉄阪急、JR 駅１箇所、私鉄駅４箇所、名神高速、近畿自動車道、国道 5.1 ㌔、府道 47.9 ㌔、市道 151.8 ㌔、市役所２箇所、学校 52 校、浄水場１箇所等）

被害軽減額約１５，５４６億円

〇過去の洪水被害　安威川流域・・・Ｐ１０～Ｐ１１

Ｓ２８年災害　淀川破堤　　床上・下浸水家屋約５,０００戸、田畑冠水約１００ha

Ｓ４２年災害　北摂豪雨（安威川ダム計画立案の契機）　破堤・・・Ｐ１２～Ｐ１３

死傷者６１名、床上・下浸水家屋約２５,０００戸、田畑冠水約１,５００ha、橋梁１３橋

Ｓ５８年災害・・・Ｐ１４　　浸水家屋約９００戸

Ｈ１１年災害・・・Ｐ１５　　浸水家屋約２００戸

H25.9.15～16 台風 18 号による出水状況・・・Ｐ１６

〇治水安全度の妥当性・・・Ｐ１７

安威川治水対策：ダムによる洪水調節と下流の５０ミリ河川改修で１/１００年の大雨に対応（安威川５０ミリ対策 H23 末完成済）

○Ｂ／Ｃ（費用対効果）の妥当性・・・Ｐ１８

Ｂ／Ｃ　：　５．１８　（Ｂ：総便益額　６，９３４．４７億　　Ｃ：総費用　　１，３３７．５２億）

○代替案の各案の妥当性・・・Ｐ１９～２４

☆ダム建設＋河道改修　：　１　（約１,３１４億円）

河道改修　：　２　（約２，０２５億円）

遊水池＋河道改修　：　３　（約２,８５９億円）

放水路＋河道改修　：　２　（約２,０３７億円）

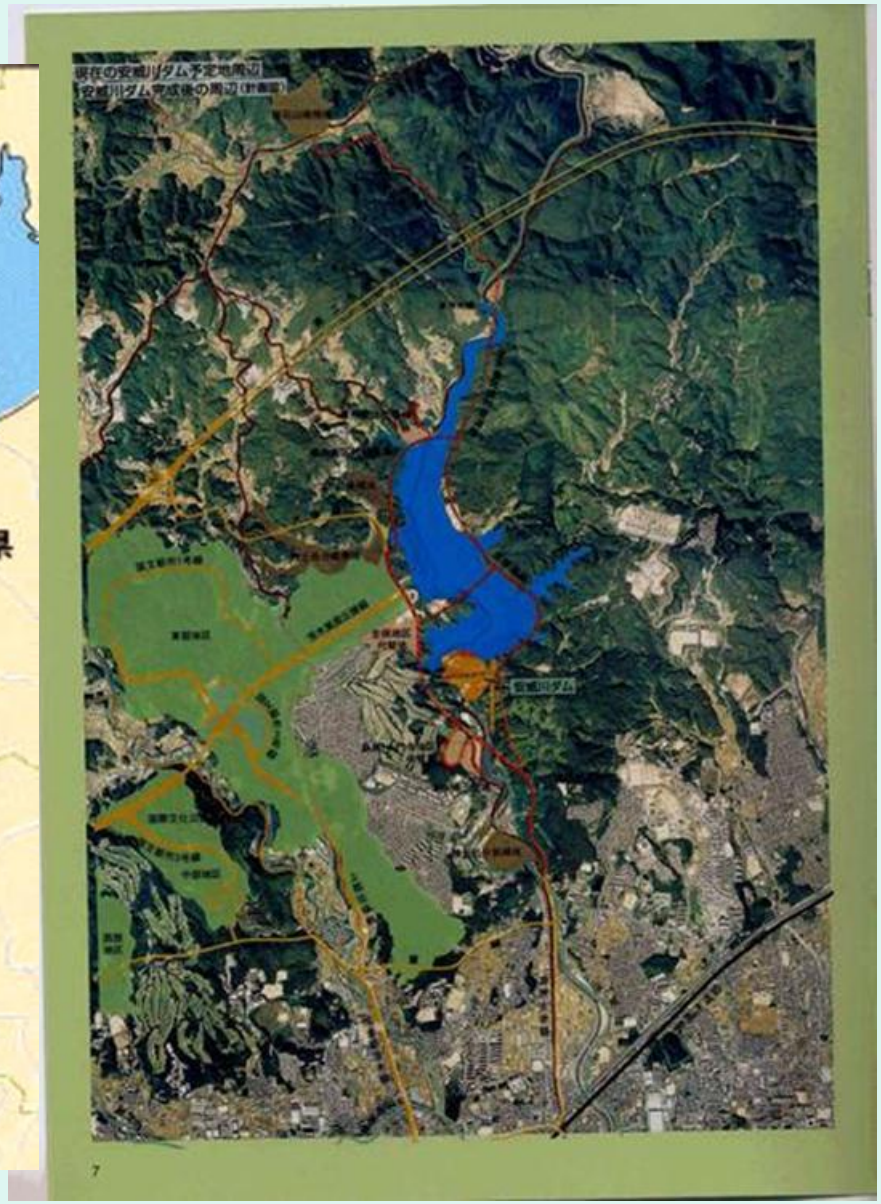
ⅱ）不特定、利水等の水需要の必要性・緊急性・・・Ｐ２５

○不特定容量

用水補給面積８４．３ha

発生期間	取水制限等の状況
S53.9.1～S54.2.8	淀川取水制限最大 10%　134 日間
S59.10.8～S60.3.12	淀川取水制限最大 20%　156 日間
S61.10.17～S62.2.10	淀川取水制限最大 20%　117 日間
H6. 8.22～H6.10.4	淀川取水制限最大 20%　44 日間
H12.9.9～H12.9.10	淀川取水制限最大 10%　2 日間
H14.9.30～H15.1.8	淀川取水制限最大 10%　101 日間

○位置図



○安威川流域の状況

安威川ダム建設予定地点
安威川ダム
名神高速道路
JR東海道本線
阪急京都線
大阪中央環状線
近畿高速自動車道
安威川
JR東海道新幹線

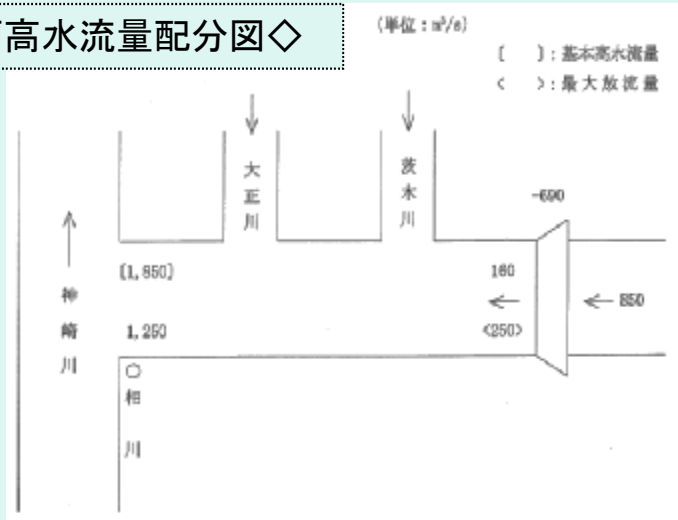
計画概要図（安威川ダム：大阪府）

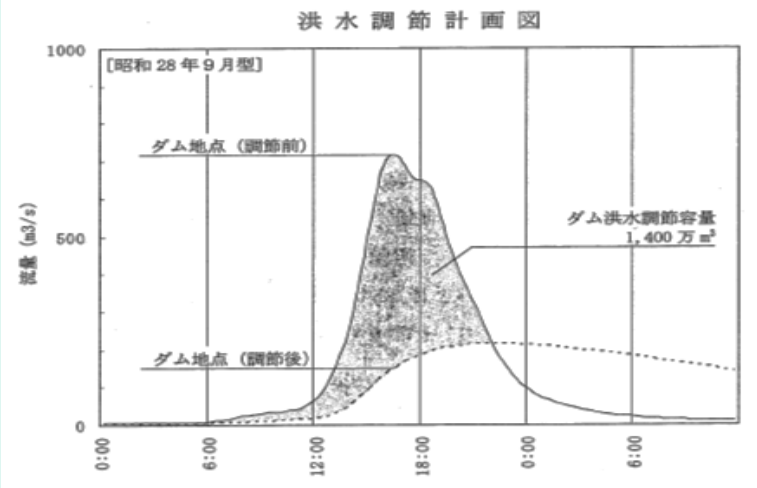
治水計画（安威川ダム：大阪府）

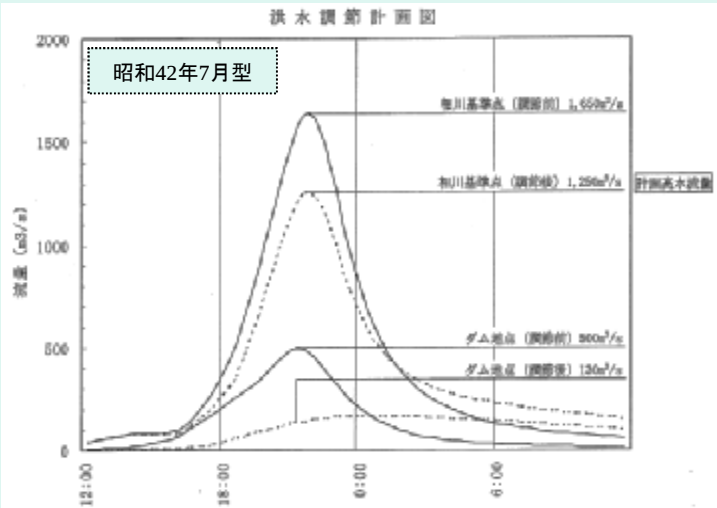
＜目　　的＞

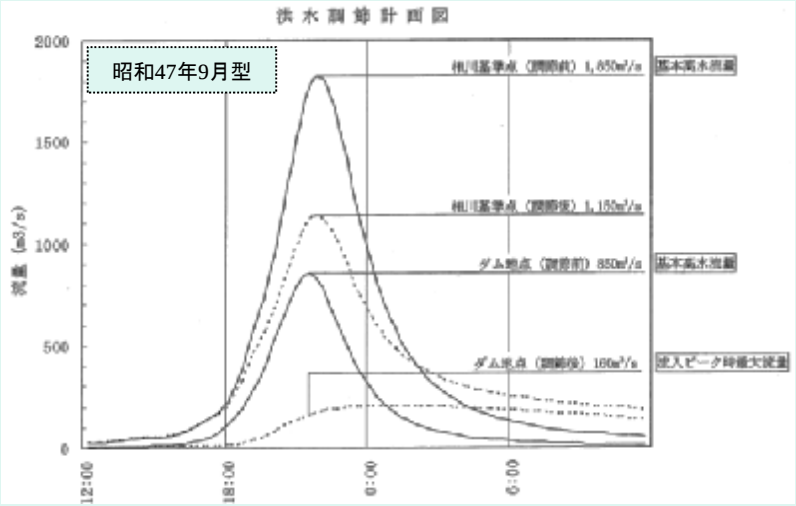
ダム地点の計画高水流量850㎥/sのうち690㎥/sの洪水調節を行い、
安威川沿川流域の水害を防御する。

◇計画高水流量配分図◇





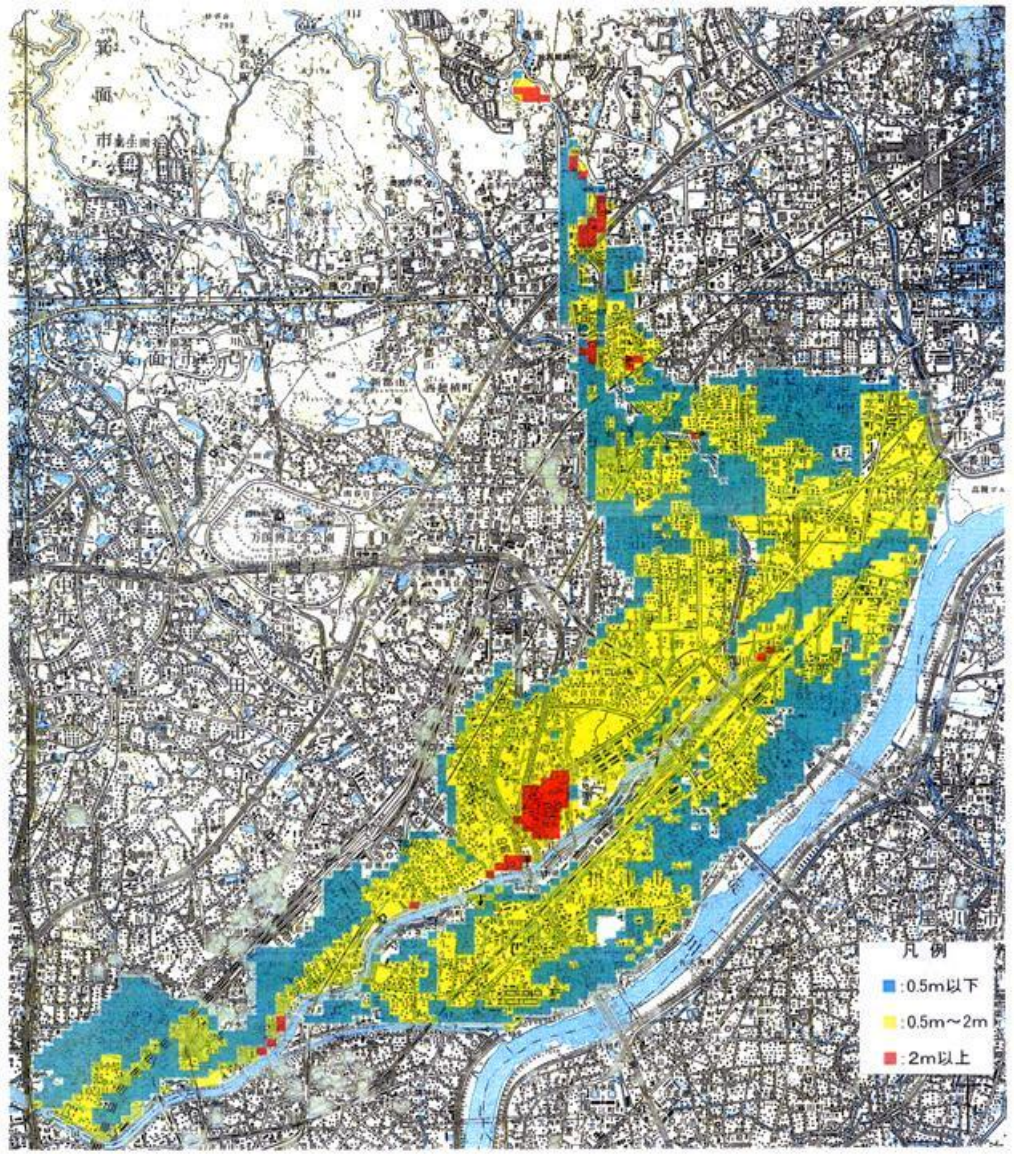




都市の壊滅的被害防止に効果

（安威川ダム：大阪府）

○洪水想定氾濫区域図



◆計算条件

○河道の状況　：　現況
（ダムなし）

○計画日雨量　247mm/日
確率　1/100

- 浸水深　2m以上
- 浸水深　0.5～2m
- 浸水深　0.5m未満

◆主要公共交通施設

・名神高速道路

・府道大阪中央環状線

・JR東海道新幹線

治水必要性（安威川ダム：大阪府）

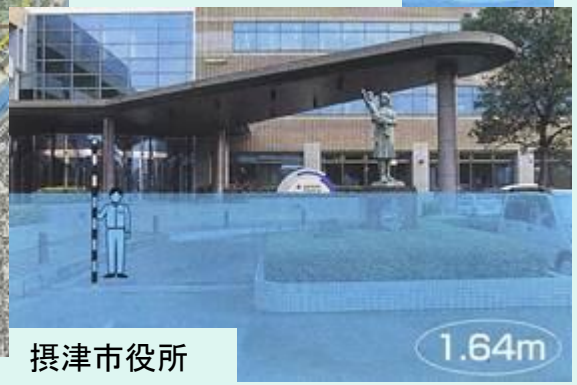
ふだんの
安威川

越水状況
（平成11年6月）

浸水状況摂津市鳥飼野々（平成11年6月）

阪急茨木市駅

北大阪流通業務団地



摂津市役所

○災害の状況

①昭和42年（1967年）災害

安威川流域で
死傷者61名、床上・床下浸水約25000戸
田畑の冠水約1500ha、橋梁被害13橋

②昭和58年（1983年）災害

茨木市、摂津市で浸水家屋約900戸

③平成11年（1999年）災害

摂津市で浸水家屋約200戸

昭和42年　北摂豪雨災害

被害内容

死傷者61名、田畑冠水約1，500ha

家屋の全半壊41戸、床上・床下浸水約25，000戸

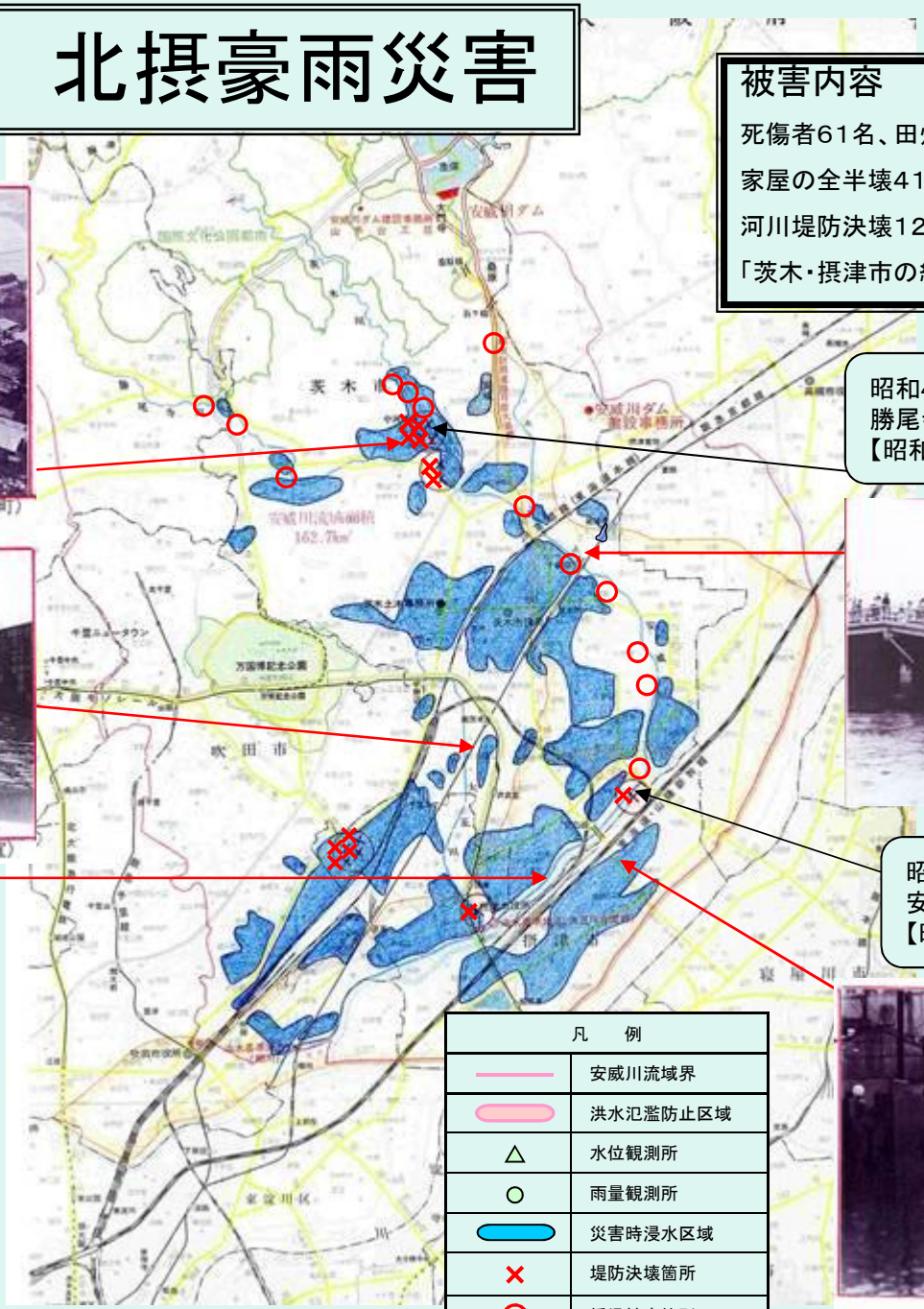
河川堤防決壊12箇所、橋梁被害13橋など

「茨木・摂津市の約1／3が浸水」（市広報より）

茨木川・勝尾寺川合流点付近（茨木市中河原町）

（茨木市沢良宜）

ＪＲ鳥飼基地（摂津市安威川南町）



昭和42年7月9日21時30分　決壊
勝尾寺川左右岸（茨木市中河原地区）
【昭和42年7月豪雨災害：大阪府】

千歳橋の橋脚破損（茨木市戸伏町）

昭和42年7月9日22時00分　決壊
安威川左岸（茨木市野々宮地区）
【昭和42年7月豪雨災害：大阪府】

（摂津市鳥飼中）

○昭和42年災害状況（1）

堤内地の浸水（茨木市沢良宜）

あけぼの橋流失（茨木市東野々宮町）

堤内地の浸水（摂津市鳥飼中）

茨木川・勝尾寺川合流点付近の溢水
（茨木市中河原町）

○昭和42年災害状況（2）

千歳橋の落橋（茨木市戸伏町）

新幹線鳥飼基地の浸水（摂津市）

○昭和58年災害状況

安威川・大正川合流点の増水状況
（昭和58年9月、台風10号）

平常時（左と同じ場所）（平成14年10月）

○平成11年災害状況

安威川での溢水被害（長ケ橋上流）（平成11年6月）

平常時（左と同じ場所）（平成11年12月）

堤内地の浸水（摂津市）（平成11年6月）

○平成25年9月15~16日台風18号による出水状況

桑原橋

太田橋付近

茨木川合流点

千歳橋

○安威川の治水対策

１　計画規模

確率　1/100
計画日雨量　247㎜/日

２　治水対策の進め方

ダムによる洪水調節と下流の河道改修（50㎜対策）をあわせて
確率1/100規模の降雨に対応

３　河道の改修状況

・目標　　50㎜対策
・状況　　神崎川合流点～桑原橋上流　　L=16.8km　　改修済

＜大阪府　安威川ダム建設事業＞

●治水の経済性（H25全体計画書）

Ｂ／Ｃ（費用対効果）の妥当性

Ｂ／Ｃ　：　５．１８

Ｂ：総便益額　　６，９３４．４８億
Ｃ：総費用　　１，３３７．５２億

○治水手法の比較検討

つぎの4つの治水手法について比較検討

１．河道改修のみで対応（河道の拡幅）

２．河道の改修（遊水地より上流）＋遊水地による洪水調節

３．河道の改修（放水路より上流）＋放水路の新設

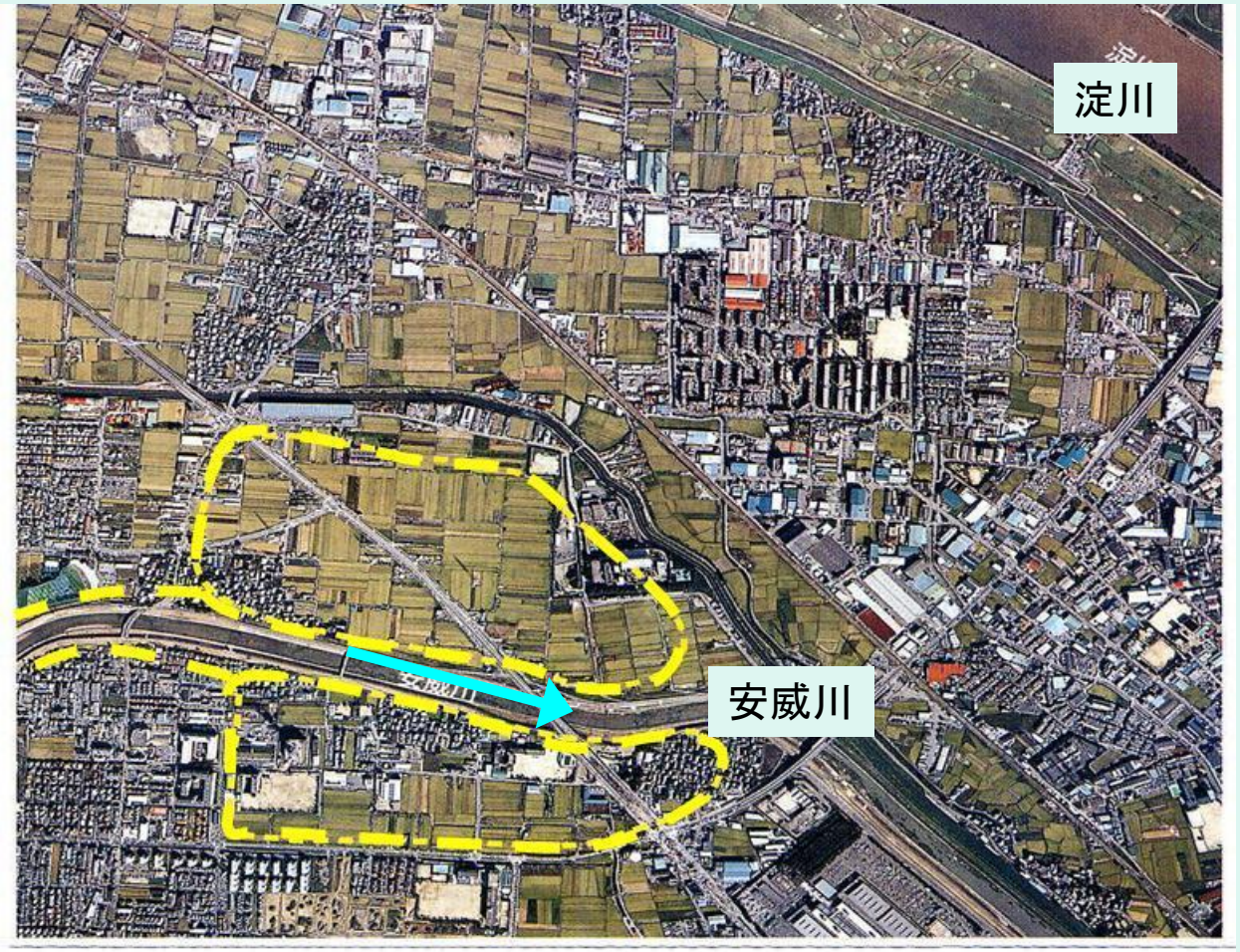
４．ダムによる洪水調節＋河道の改修（ダムより下流）

1. 河道の拡幅

神崎川の合流点から上流までの約18kmにわたって20mから50mの拡幅が必要です。
川幅の変更に伴い、多数の鉄道橋や道路橋、水道、ガスなどの改築が必要です。
移転戸数：約890戸

２．河道の改修＋新たな遊水池の整備

安威川の両側に面積約１５０ha、深さ約4mの洪水を一時貯留する遊水池を整備するものです。
あわせて、遊水池から上流までの河道の改修（1/100対応）が必要です。
移転戸数：約１１３０戸



安威川中流部
安威川新橋付近

３．河道の改修＋新たな放水路の整備

安威川から淀川に放流する新たな河川を開削するものです。
安威川から淀川に放流するためには毎秒５１０㎥のポンプ場も必要です。
あわせて、放水路から上流の河道の改修（1/100対応）も必要です。

移転戸数：約４００戸

４．河道の改修＋ダムの整備

安威川の上流部に
治水容量1400万㎥のダムを整備し、洪水を調節するものです。
あわせて、下流部の河道の改修（50㎜対応）が必要です。
水没地域等で移転を余儀なくされる人々の生活再建等や自然環境に対して細心の注意を払う必要があります。

移転戸数：約70戸

○治水手法の比較検討結果

１　費用の比較

「4．河道改修＋ダムの整備」を1とした場合
他の手法の費用はつぎのとおり

１．河道の拡幅　　：　２
２．河道の改修＋遊水池　：　３
３．河道の改修＋放水路　：　２

4つの手法のなかで「4．河道改修＋ダムの整備」 が最も費用面で安価である。

２　実現に要する期間

「河道改修＋ダムの整備」については、河道の改修（50㎜対策）が完了し、ダム　の整備に必要な用地も99％以上取得済で、　代替地への移転完了、付替府道整備もH22年9月末で供用開始し、付替市道事業を実施している。

一方、他の手法は、移転戸数が多く実現するためにはより多くの事業期間を要すると考えられる。

このため4つの治水手法のなかで、「河道改修＋ダムの整備」が、現時点から最も短い事業期間で事業効果が得られる。

３　結　論

費用面、事業期間から検討した結果、

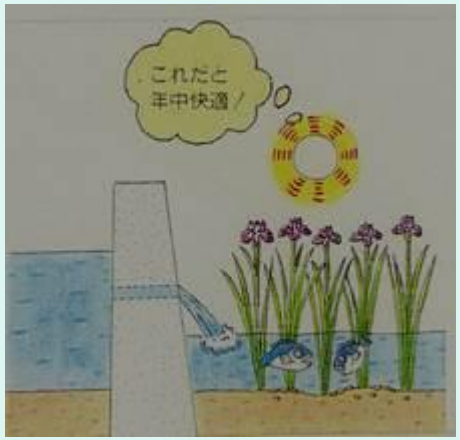
「河道改修＋ダムの整備」が最も有効な治水手法と考える

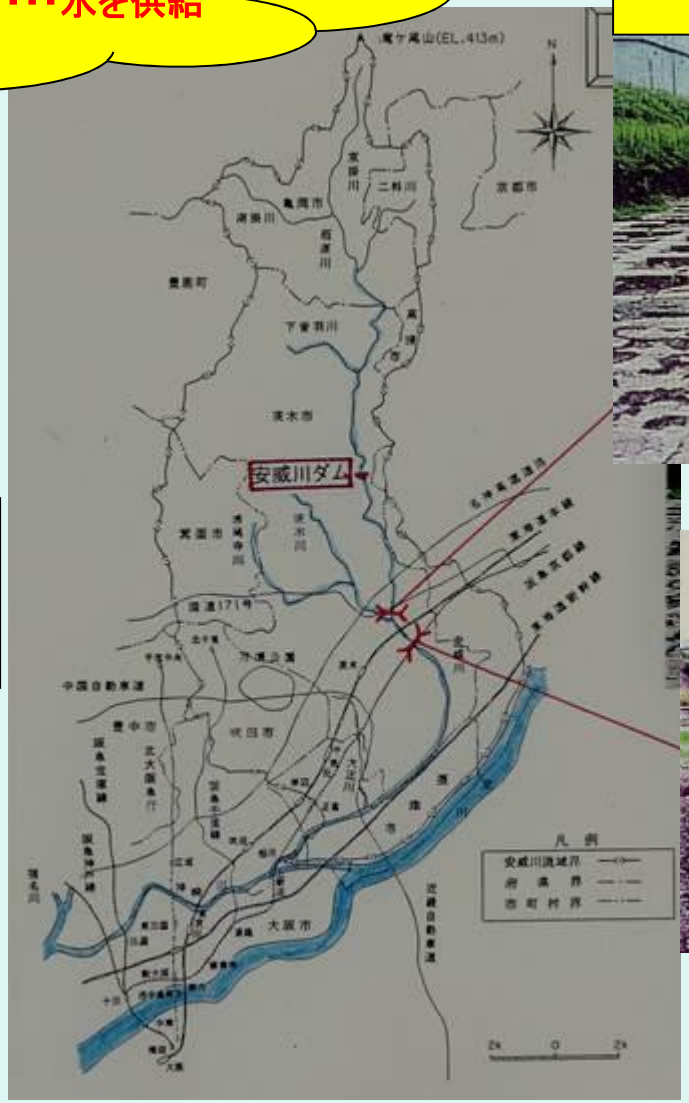
不特定用水の補給の必要性（安威川ダム：大阪府）

河川の流量が豊かな時・・・水を貯留
不足している時・・・・水を供給

ダムでは、渇水の時でも農業用水や水生生物及び水質などのために、

安威川に一定量の水を流して、水量の維持を行います。





渇水状況写真

西河原町下流付近

千歳橋上流付近

平成12年8月撮影